

令和元年度

相模原市立博物館 年報



目 次

I	相模原市立博物館概要	2
	1 設立の経緯	
	2 設置目的	
	3 平成31年度（令和元年度）生涯学習部組織目標	
	4 博物館ネットワークの推進	
	5 相模原市立博物館活動評価書	
II	管理運営	7
	1 組織と事務分掌	
	2 博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
	3 施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理業務委託 (3) 消防訓練	
	4 予算	
III	教育普及・学習支援	11
	1 入館者数 (1) 令和元年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
	2 常設展示	
	3 企画展（特別展示）	
	4 講座・講演会・教室・観望会などの事業	
	5 プラネタリウム・全天周映画	
	6 情報サービスコーナー	
	7 広報・出版等	
	8 博物館学芸員実習	
	9 学習利用	
	10 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
	11 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
	12 インターンシップ	
	13 博物館職員の講師依頼等	
	14 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
	15 市民との協働	
IV	資料管理	41
	1 博物館収蔵資料点数	
	2 収集・整理	
	3 有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
	4 資料の特別利用	
	5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
	6 全国博物館連携協議会からの借用物	
V	調査研究	47
VI	市史・町史編さん	48
	1 相模原市史・津久井町史	
VII	博物館所管施設	49
	1 尾崎罌堂記念館	
	2 吉野宿ふじや	
	3 入館者数一覧	
VIII	博物館略年表	54
付録		
	相模原市立博物館条例	
	相模原市立博物館条例施行規則	
	相模原市立尾崎罌堂記念館条例	
	相模原市立尾崎罌堂記念館条例施行規則	
	相模原市吉野宿ふじや管理規程	

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日（市制記念日）に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成16年1月に100万人を超え、平成23年8月に200万人、平成31年3月に300万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内のすべての小学校が年に一回は来館するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。（市立博物館条例第2条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成7年11月20日神奈川第32号）

3 平成31年度（令和元年度）生涯学習部組織目標

市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会を創造します。

そのため、「新・相模原市総合計画」をはじめ、「相模原市教育振興計画」、「相模原市スポーツ振興計画」、「相模原市図書館基本計画」等に基づき、生涯学習分野においては、あらゆる機会に、

あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向け、平成31年度の「生涯学習部」の組織目標を次のとおり定めます。

<重点目標>

- 『市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会の創造』
- 『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成』

<重点項目>

- 1 市民の多様な学習ニーズに対応するため、公民館、生涯学習センター及び津久井生涯学習センターの事業の充実や施設の環境整備を図る。
 - 市民の高い学習意欲や社会的課題に対応した各種講座、事業等の実施
 - 学習活動を通じた地域を担う人材の育成と仕組みづくりの促進
 - 公民館の改修事業をはじめとする施設の着実な整備と適切な維持管理の推進
 - 公民館のより良い管理運営体制の在り方の検討
 - 市民、有識者、行政の協働による淵野辺駅南口周辺まちづくり事業の推進
- 2 文化財の保存及び活用を計画的に進める。
 - 埋蔵文化財の適切な調査、保存の推進
 - 郷土に対する愛着と誇りを育むため、市民への文化財の普及、情報発信等、文化財を学び親しむ機会の提供
- 3 「する」「観る」「支える」スポーツ環境の充実に取り組む。
 - 利用者ニーズを踏まえたスポーツ施設の整備と適切な維持管理の推進
 - ホームタウンチームとの連携・支援をはじめとしたスポーツの振興
 - トップレベルの競技会の開催を通じた、スポーツ振興やシティセールスの推進
- 4 図書資料等の提供を中心とした市民の知的活動の支援に一層取り組む。
 - 自主的な学習を支えるための資料の充実と積極的な情報発信
 - 地域関係機関との連携による図書館の利用促進
 - 市立図書館の中央図書館としての再整備の推進
- 5 地域文化の継承・発信の拠点とした事業の推進を図る。
 - 収蔵資料の更なる活用を通じた魅力ある展示の検討
 - 関係機関や団体、学校等と連携し、来館者の増加を図り学びの場を提供
 - JAXAとの連携による宇宙教育普及事業の充実

平成31年度（令和元年度） 博物館重点目標

■重点目標

博物館は、生涯学習部の重点目標である『市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会の創造』、『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成』を実現する柱のひとつとなっています。

このため、博物館の使命である、地域の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究を深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組んでまいります。

また、関係機関等との連携を促進するとともに、主体的に参加する市民と協働し、市民文化の向上に資する事業の展開及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通じ、魅力ある展示に努めます。

- ・関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携による宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の養成に取り組むとともに、協働による博物館活動の充実に努めます。
- ・博物館への興味・関心が高まるよう、様々なメディアを活用した積極的な情報発信・魅力発信に努めます。
- ・人（来館者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な空間となるよう、計画的で適切な施設の維持管理に努めます。

■重点施策（取り組むべき事業）

1 展示・教育普及事業の推進

- (1) 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- (2) 市民ボランティアとの協働による展示内容の検討及びミニ展示の実施
- (3) JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- (4) 天文分野に関するソフト事業の実施と継続的な施設改修の検討
- (5) 尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- (6) 市民ボランティアの養成と自主活動の促進
- (7) 館内表示等の多言語化の推進

2 積極的な情報発信事業の推進

- (1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター等SNSを活用した情報発信の実施
- (2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- (1) 計画的な施設維持管理の実施
- (2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

- (1) 市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

5 博物館評価の実施

- (1) より親しまれる博物館の実現を目指した博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。

その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

- ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業…ミニ企画展「尾崎罌堂と歴代天皇」、
近現代史講演会（全2回）
※第1回は令和元年東日本台風の影響により実施日延期、
第2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2事業 延べ232人
- イ 吉野宿ふじや活性化事業 …昭和の娯楽展、藤野—相模川と人々の暮らし展、
児童文学者 丘修三展
※令和元年東日本台風の影響により開始日延期、
甲州道中—相模湖・藤野・上野原—おひな様展
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため期間短縮して
終了
4事業 延べ1,689人

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括

（評価期間：平成26年度～平成28年度）

○平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会委員による有識者評価を経て、平成23年度～25年度評価に引き続き、第2回目となる平成26年度から平成28年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【重点目標・評価項目】

- 1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動

平成26年度～平成28年度における活動評価全体総括

○市民とともに歩む博物館として、引き続き、地域に根差した活動を活発に行っている点が有識者会議において評価された。

具体的には、JAXAと連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施をはじめ、常設展示のリニューアルとして市民目線による展示の検討を継続的に行っている点、小学校をはじめとする学校への学習支援や、公民館等の事業の実施に対しての連携、博物館を舞台とする各分野でのボランティアとの協働による活動の充実などである。

○一方、博物館でのイベント等は積極的に行っているが、入館者数は頭打ちの傾向が見られ、また、利用する年代層にやや偏りが見られるなど、市民にとって一層の魅力ある活動の展開や、

事業の広範な周知方法についての指摘がなされた。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、さらに地域文化を継承・発信する拠点としての博物館を目指して活動していく。

【定量評価】

○ 定量評価は、事業評価シート（定量評価）のとおり、目標を上回る、あるいはそれに近い数値を達成している項目が多く、この点は評価されるが28年度には入館者が5%減少となるなど、より魅力ある事業の展開や積極的な周知など、今後のさらなる充実が必要である。

課題として、上記の点に加え、定量的評価の数値の推移を館全体の活動内容に位置付けて分析することや、学芸員が館外で行った事業の参加数を加えるなど、多面的な方向からさらに定量評価を検討する必要がある。

【定性評価】

○ 定性評価は、今回の評価書作成にあたり、直近の平成28年度の活動状況に対する評価を中心に記載しており、各項目については、以下のとおり総括した。

1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業では、「市民による常設展示の検討」「各種宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、市民による常設展示の展示替えを目的とした検討会が結成され、市民目線による展示の検討が引き続き行われている点や、国際的にも知名度の高い機関であるJAXAと連携した多彩な活動が、積極的に行われている点が評価された。

課題として、市民から提出されるさまざまな意見を適切に反映させ、さらに博物館への期待度を上げることや、宇宙教育普及事業に参加した市民の評価を元に、をさらにJAXAとの連携を発展させることが挙げられる。

2 関連施設・機関との連携では、「博物館ネットワーク計画の推進」「学校への学習支援」「公民館等との連携」について評価を行った。

有識者意見からは、津久井地域にある施設の利用者が市民協働による事業によって増加した点や、全体として小学校を中心とした授業等への支援が積極的に行われ、そのほかにも、公民館等の事業実施に対しての協働が積極的になされている点が高く評価された。

課題として、津久井地域の施設の周知が未だ不十分であることや、今後ともさまざまな取り組みによる学習支援の展開、博物館職員以外の外部の研究者やボランティアとの連携による活動の展開について検討していく必要がある。

3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、引き続き博物館に拠点を置く市民の会による活動が実施され、運営の軸の一つとなっている点や、特に市民学芸員による主体性を重視した活動のあり方が高く評価された。

課題として、会に参加する者が高齢化・固定化して人材の確保が難しくなっている点や、そうした博物館で活動する多くのボランティアの存在や活動を周知することがあり、さらに、さまざまな市民による活動内容の役割をこの機会に博物館側として整理することが必要である。

4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動では、「市民とともに実施する資料整理及び展示、調査成果の公表」について評価を行った。

有識者意見からは、市民の会を中心に数多くの資料採集や整理が市民協働によって行われ、また、市民による調査研究の成果が『研究報告』に掲載されていることが評価された。

課題として、こうした市民による資料整理の成果を蓄積して周知していくことや、さらに多くの市民が参加できるような調査を企画・実施していくことが挙げられる。

最後に、今回は今後の評価の手法や評価シート全般に係わる有識者評価も実施した。

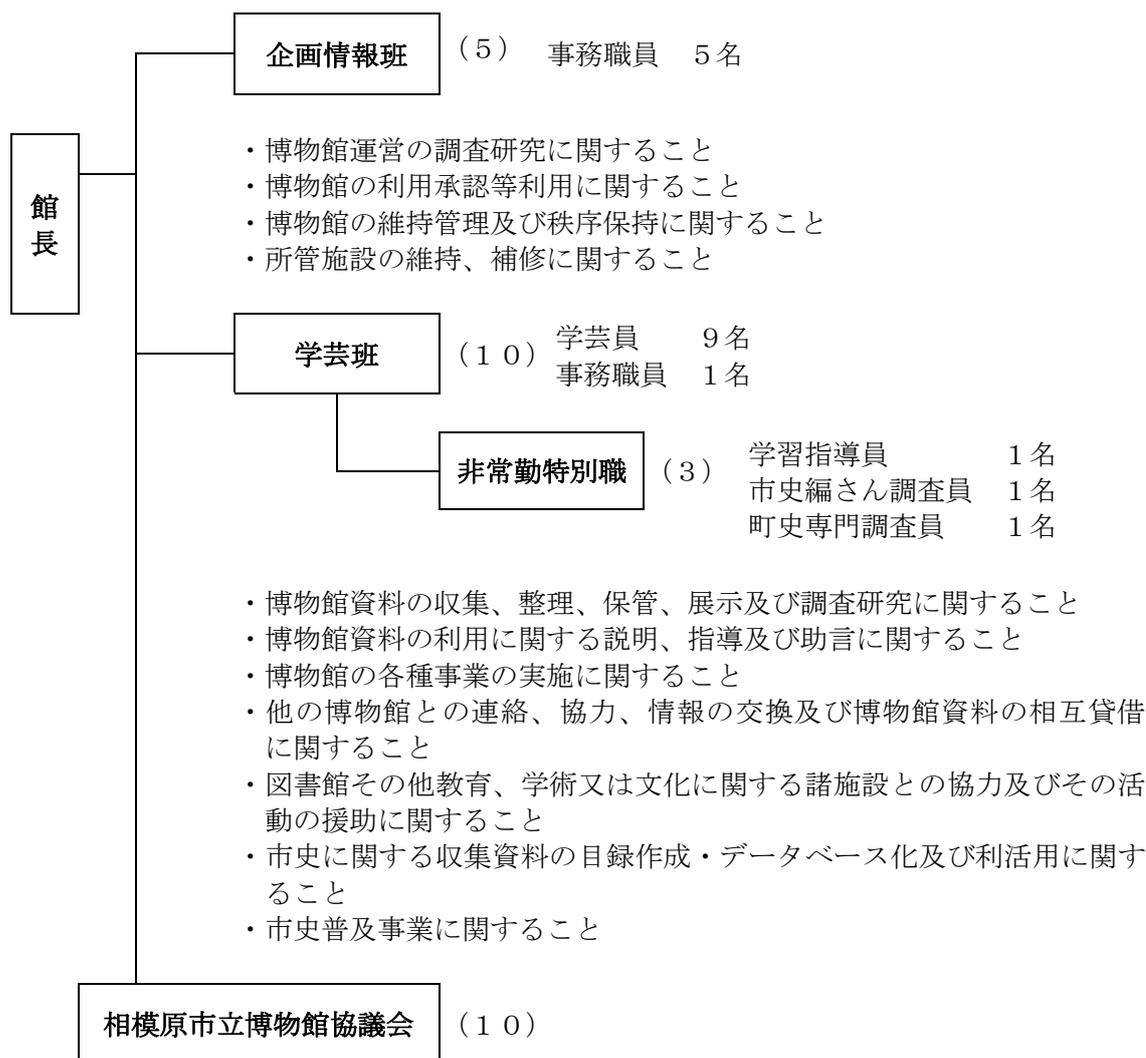
この点に関しては、博物館として達成できなかった内容の記載や、定量評価に際して妥当な目

標値の設定と目標を達成する手法の検討・評価、社会のIT化への可能な面からの対処、館の特徴の改めでの明示化など、多様な方面からの評価がなされた。

II 管理運営

1 組織と事務分掌

令和2年3月31日現在



2 博物館協議会

(1) 趣旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

平成29年11月20日～令和元年11月19日 ◎会長 ○副会長

氏名	備考	選出区分
水戸 一平	小学校教諭	学校教育
千葉 美希子	高等学校副校長	
戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
○ 若林 由美	市立小中学校PTA連絡協議会副会長	
井上 博美	市女性学習グループ連絡協議会書記	家庭教育
小瀬 康行	東京家政学院大学教授	学識経験者
◎ 青木 雄司	神奈川県公園協会職員	
生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
三宅 潔	市民公募	市の住民
成田 治子		

令和元年11月20日～令和3年11月19日 ◎会長 ○副会長

氏名	備考	選出区分
沼澤 俊宏	小学校校長	学校教育
五十里 雅子	高等学校副校長	
戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
林 さとみ	市立小中学校PTA連絡協議会副会長	
○ 吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎ 岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	学識経験者
浜田 弘明	桜美林大学教授	
生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
遠藤 正典	市民公募	市の住民
谷内 夢賀子		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月26日(金)	・平成30年度博物館事業報告について ・令和元年度博物館事業計画について ・博物館評価について
2	11月7日(木)	・博物館の活動評価について
3	令和2年 2月13日(木)	・会長及び副会長の選出 ・博物館協議会の概要、活動内容について ・相模原市立博物館活動評価書について ・今後の予定について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 999. 48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5, 081. 03㎡
オ 延床面積	9, 510. 24㎡

	用途・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1, 907㎡)	自然・歴史展示室 (1, 170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サヒスコナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1, 038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
	整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。	
収蔵スペース (1, 570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。	
管理・共用	管理・共用スペース (3, 894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

カ Wi-Fi 博物館(エントランス、常設展示室等)と尾崎号堂記念館にWi-Fi 環境あり。

(2) 施設管理業務委託(委託料年間1, 000万円以上)

- ・総合管理業務委託 株式会社オーチャー 相模原支店
委託期間 平成30年6月1日～令和3年5月31日
- ・受付業務委託 株式会社ギオン
委託期間 令和元年6月1日～令和3年5月31日
- ・プラネタリウム操作等業務委託 株式会社東急コミュニティー
委託期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

- (3) 消防訓練 令和元年9月26日(木) [県博協防災訓練]
令和2年2月27日(木)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	3 1 年度予算額	2 年度予算額	財源内訳	3 1 年度
10	05	55	企画費	293	770	一般財源 特定財源	293 0
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	30	30	一般財源 特定財源	30 0
50	20	45	博物館費	258,037	241,909	一般財源 特定財源	237,672 20,365
計				258,067	241,939		258,067

博物館費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,323	経費内訳		3 1 年度
0 4 共済費	397	1 博物館協議会経費	295	275
0 7 賃金	5,720	2 施設運営費	53,334	50,931
0 8 報償費	5,360	(1) 資料収集保存経費	9,046	5,212
0 9 旅費	498	(2) 資料調査研究経費	3,050	2,905
1 1 需用費	75,364	(3) 展示・教育普及事業経費	6,427	6,854
1 2 役務費	986	(4) プラネタリウム事業経費	34,427	35,380
1 3 委託料	156,641	(5) その他運営費	384	344
1 4 使用料及び賃借料	7,924	3 施設維持管理費	196,145	188,936
1 8 備品購入費	715	4 市史関連事業費	6,806	188
1 9 負担金、補助及び交付金	102	5 一般事務費	1,457	1,579
2 7 公課費	7			
合計	258,037	合計	258,037	241,909

主な施設修繕箇所

- 博物館
- ・ 冷却塔修繕
 - ・ 自動制御機器修繕
 - ・ シャッター修繕
 - ・ プラネタリウム女子トイレ洋風便器化修繕
 - ・ 屋上雨漏れ修繕

Ⅲ 教育普及・学習支援

1 入館者数

(1) 令和元年度計 138,573 人 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～3月31日(火)休館。

(2) 総 計 3,144,327 人

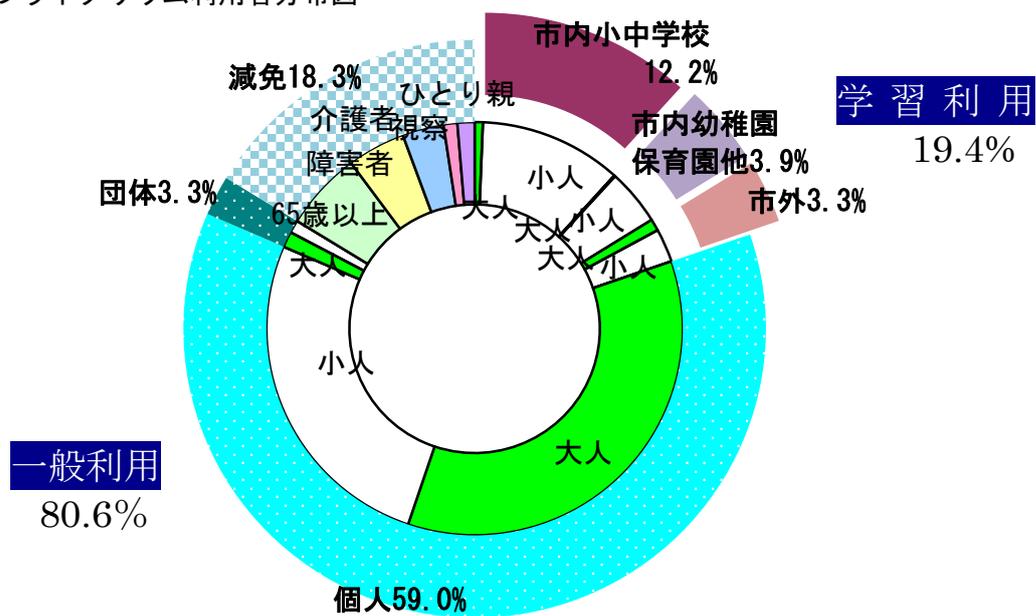
(3) 詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会講座等	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	学習投影						
平成31年4月	11,241	3,946	1,902	2,044	0	7,412	109	392	¥1,204,060	26	432
令和元年5月	13,481	5,002	2,175	2,078	749	6,508	131	379	¥1,364,500	27	499
6月	11,624	4,010	1,651	1,643	716	8,298	53	345	¥1,171,170	24	484
7月	16,718	7,619	3,300	3,351	968	7,967	119	557	¥2,127,690	26	643
8月	27,640	13,729	5,056	8,673	0	18,495	310	1,502	¥4,047,030	31	892
9月	9,720	3,672	2,171	1,113	388	3,677	157	432	¥1,172,770	25	389
10月	8,958	3,395	1,647	721	1,027	2,417	55	397	¥668,580	25	358
11月	15,891	5,106	1,177	476	3,453	8,466	125	2,536	¥550,930	26	611
12月	8,503	3,990	1,087	623	2,280	5,425	88	1,443	¥503,980	23	370
令和2年1月	6,849	2,365	1,077	611	677	4,446	135	456	¥556,990	22	311
2月	7,852	2,361	1,342	568	451	5,178	61	523	¥631,590	22	357
3月	96	0	0	0	0	0	0	0	¥0	1	96
令和元年度計	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	¥13,999,290	278	498

* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167	¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941	¥15,673,280	304	454
30年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841	¥14,551,720	304	449
令和元年度	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	¥13,999,290	278	498
総 計	3,144,327	1,333,551	534,301	528,786	270,464	1,413,641	32,233	192,604	¥362,138,430	7,343	428

プラネタリウム利用者分布図



2 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2つ。

「自然・歴史展示室」については、「川と台地と人々の暮らし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」、「くらしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

3 企画展（特別展示）

(1) 考古企画展 「相模原市の遺跡2019 博物館deトレジャーハンター
～お宝なぞ解き考古展～Vol. 3」
同時開催「最新考古学調査成果速報展」

実施日	3月16日（土）～5月6日（月・祝）	来場者	平成30年度 5,091人 令和元年度 12,340人 延べ 17,431人
内容	<p>考古学者“さがぼん”と大日野原遺跡（緑区澤井）の土偶から生まれた“おびのっち”と一緒に、相模原の太古の遺跡から発見された“お宝”の謎を解き明かす、参加型なぞ解き考古展の第3弾。今回は学校の周辺でどういった遺跡が発見されているのかを紹介した。 その他“おびのっち”のモデルとなった大日野原遺跡の土偶装飾付き土器の最新調査成果などを展示した。</p>		
関連事業	<p>①記念講演会「古代の灯火の器と祈り～相模国の仏教の波及～」 実施日 4月14日（日） 参加者 74人 講師 富永 樹之（神奈川県教育委員会）</p> <p>②考古学体験教室「縄文土器の“穴”から植物をみる」 実施日 4月21日（日） 参加者 50人 講師 山本 華（㈱パレオ・ラボ）</p> <p>③最新考古学調査成果発表会 実施日 4月28日（日） 参加者 89人 講師 当館学芸員ほか</p> <p>④縄文ワークショップ「縄文ペンダントづくり」 実施日 5月6日（月・祝） 参加者 228人 協力 相模原縄文研究会</p> <p>⑤博物館deクイズラリー（全7回） 実施日 3月16日（土）・23日（土）・30日（土）、4月6日（土）・13日（土）・20日（土）・27日（土） 参加者 延べ 1,353人</p>		

(2) 生物企画展 「闇に生きる 相模原にすむ夜行性の生きもの」

実施日	5月25日(土)～7月7日(日)	来場者	延べ 12,581人
内容	身近にいながらあまり目にすることのない夜の生きものたちの意外と豊かな生物相を、はく製や映像、写真などを使って紹介した。		
関連事業	<p>①学芸員講話 「ここだけの話…博物館のまわりには、実はこんな動物がいます！」 実施日 5月26日(日) 参加者 52人 講師 当館学芸員</p> <p>②ちょっと怖い！絵本の読み聞かせ会(全2回) 実施日 6月15日(土)・23日(日) 参加者 延べ 201人 読み手 光明学園相模原高等学校演劇部</p> <p>③夜の昆虫採集！ライトトラップ見学会 実施日 6月8日(土) 参加者 68人 講師 小野 広樹(うみねこ博物堂店主)、阪本 優介(昆虫研究家)</p>		

(3) 天文企画展 JAXA連携企画「オーロラが輝く奇跡の星」写真展

～宇宙観測からわかる私たちへのメッセージ～ ※JAXAと共催

実施日	7月20日(土)～9月1日(日)	来場者	延べ 24,518人
内容	地球南北極域の上層大気で発光するオーロラについて、地上から撮影した美しいオーロラの写真や映像を展示し、そのしくみや見える地域などを紹介した。また、JAXA宇宙科学研究所が開発・研究を行っている惑星の磁気圏や宇宙からのオーロラ観測についても取り上げ、科学的に解説した。		
関連事業	<p>①7月のさがみはら宇宙の日 講演会「宇宙への入り口を彩るオーロラの仕組み」 実施日 7月20日(土) 参加者 80人 講師 村上 豪(JAXA宇宙科学研究所太陽系科学研究系助教)</p> <p>②8月のさがみはら宇宙の日 「オーロラ上映&トークライブ in プラネタリウム」 実施日 8月18日(日) 参加者 161人 講師 中垣 哲也(オーロラメッセンジャー)</p> <p>③オーロラメッセンジャー中垣 哲也さんによる 「ギャラリートーク」(全2回) 実施日 8月18日(日) 参加者 延べ 85人 講師 中垣 哲也(オーロラメッセンジャー)</p>		

(4) ミニ展示合同企画展

実施日	9月14日(土)～10月20日(日)	来場者	延べ 5,335人
内 訳	<p>①「相州 三増峠図」 内 容 ちょうど450年前の永禄12年(1569)に小田原北条氏と甲斐武田氏が戦った三増峠の戦いについて、当館にて購入した江戸時代後期の文化9年(1812)制作の本図を初公開した。また、三増峠の戦いやその前後の本市周辺での武田軍の行軍等をミニ展示の中で紹介した。</p> <p>関連事業 学芸員による展示解説(全2回) 実施日 10月6日(日)・20日(日) 参加者 延べ 45人 講 師 当館学芸員</p> <p>②「岩崎賀都彰が描いた宇宙」 内 容 宇宙細密画の第一人者として活躍し、当館においても平成9年の特別展「太陽系～母なる太陽とその家族を巡る～」において原画の展示を行った岩崎賀都彰さんの宇宙細密画25点を展示した。</p> <p>③博物館実習生展 内 容 考古・歴史・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介した。展示解説も実施した。</p>		

(5) 学習資料展 「学習資料展 ～ちょっと昔の暮らし 第18回東京オリンピックの頃～」

実施日	11月1日(金)～ 令和2年2月24日(月・祝)	来場者	延べ 23,515人
内 容	<p>東京2020オリンピックの開催にちなみ、1964年の第18回東京オリンピックの頃に使われていた生活道具を紹介した。</p>		
関連事業	<p>①チャレンジ体験コーナー(全8回) 内 容 昔あそび、道具体験、紙芝居上演等を行った。 実施日 11月3日(日・祝)・17日(日)、12月1日(日)・ 15日(日)、令和2年1月5日(日)・19日(日)、 2月2日(日)・16日(日) 参加者 延べ 1,036人</p> <p>②お手玉作り(全2回) 実施日 12月8日(日)・21日(土) 参加者 延べ 40人</p>		

(6) 考古企画展 津久井城跡市民協働調査10周年記念

「真・津久井城展～戦国の世に黄金を生む城～」

実施予定日	令和2年3月14日(土)～ 5月6日(水・祝)	来場者	—
内 容	<p>絵図や古文書、発掘調査の出土品によりこれまでの津久井城の調査を総決算し、さらに最新の調査成果で見えてきた新たな津久井城像に触れられる展示を予定していた。</p>		

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

4 講座・講演会・教室・観望会などの事業

(1) 生きものミニサロン (全14回)

実施日	4月6日(土)～令和2年3月28日(土)	参加者	延べ 202人
内容 講師	博物館周辺で身近な生きものを観察した。 当館学芸員ほか		

※14回の内、第13回(令和2年2月22日(土))、第14回(3月28日(土))は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(2) 星空観望会 (計24回)

実施日	4月13日(土)～令和2年3月21日(土) (原則月2回(8月は4回、12・3月は1回) 金曜日又は土曜日に開催・定員各回120人)	参加者	延べ 1,343人
内容 対応	季節に応じた天体の観望を通し、天文知識の普及を図った。 当館学芸員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員		

※24回の内、第15回(10月12日(土))は令和元年東日本台風、第23回(令和2年2月22日(土))、第24回(3月21日(土))は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3) 学芸員講話 (全8回)

「さがみはらの博物誌」として、相模原市立博物館学芸員講話全8回を開催した。

ア 「ここだけの話…博物館のまわりには、実はこんな動物がいます！」

実施日	5月26日(日)	参加者	52人
-----	----------	-----	-----

※詳細は14頁3(2)①参照

イ 「民具を調べて分かること」

実施日	6月30日(日)	参加者	32人
-----	----------	-----	-----

ウ 「勝坂遺跡い・ろ・は～国指定史跡たる縄文秘話～」

実施日	7月21日(日)	参加者	62人
-----	----------	-----	-----

エ 「市内に残る北条早雲制札～無量光寺文書を中心に～」

実施日	9月22日(日)	参加者	137人
-----	----------	-----	------

オ 「アンゴラウサギと養兔組合—中野森戸自治会資料を中心に—」

実施日	10月27日(日)	参加者	20人
-----	-----------	-----	-----

カ 「相模原の妖怪～その地域性と民俗学的分類～」

実施日	12月22日(日)	参加者	83人
-----	-----------	-----	-----

キ 「300万年前、相模原は海だった～相模野台地の土台をつくる地層の話～」

実施日	令和2年1月26日(日)	参加者	119人
-----	--------------	-----	------

ク 「学芸員講話 in プラネタリウム」

実施予定日	令和2年2月23日(日・祝)	参加者	—
-------	----------------	-----	---

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(4) さがみはら宇宙の日 (全12回)

毎月1回天文学宇宙関連の講演やワークショップなどを開催した。

ア プラネタリウムで星座早見にチャレンジ! ~平成最後の星空観察にむけて~

実施日	4月27日(土)	参加者	71人
講師	当館学芸員		

イ 国際博物館の日記念事業「プラネタリウムこども無料デー」&「昼間の星の観望会」

実施日	5月18日(土)	参加者	延べ 231人
内 訳	①プラネタリウムこども無料デー 93人		
	②昼間の星の観望会 延べ 138人		
講師	当館学芸員(昼間の星の観望会)		

ウ はやぶさの日記念事業「祈り~小惑星探査機はやぶさの物語~」上映会

実施日	6月15日(土)	参加者	114人
-----	----------	-----	------

エ JAXA連携企画展関連事業講演会「宇宙への入り口を彩るオーロラの仕組み」

実施日	7月20日(土)	参加者	80人
-----	----------	-----	-----

※詳細は14頁3(3)①参照

オ JAXA連携企画展関連事業「オーロラ上映&トークライブ in プラネタリウム」

実施日	8月18日(日)	参加者	161人
-----	----------	-----	------

※詳細は14頁3(3)②参照

カ 昼間の星の観望会

実施日	9月23日(月・祝)	参加者	延べ 140人
-----	------------	-----	---------

キ 水星を観察しよう!

実施日	10月20日(日)	参加者	57人
-----	-----------	-----	-----

ク 2019年度JAXA相模原キャンパス特別公開 ※JAXAと共催

実施日	11月2日(土)	参加者	延べ 1,306人
内 訳	①見えない力で遊ぼう! 1,150人		
	②月でかつやく!基地・ローバー・ロボ作り! 60人		
	③JAXA職員と語る宇宙科学の仕事と生活 96人		

ケ 第4回宇宙フェスタさがみはら~リュウグウのかけらを相模原へ!

ガンバレ「はやぶさ2」~ ※宇宙フェスタさがみはら実行委員会と共催

実施日	12月7日(土)	参加者	延べ 821人
内 訳	①星のストラップ作り 延べ 93人		
	②紙芝居&絵本の読み聞かせ会 80人		
	③昼間のプチ観望会 延べ 67人		
	④講演会 180人		
	⑤宇宙飛行士訓練服で記念撮影コーナー 110人		
	⑥特別バージョンプラネタリウム投影 291人		
講師	市民学芸員ほか(星のストラップ作り) 吉川 真 (JAXA宇宙科学研究所 准教授)(講演会) 佐伯 孝尚 (JAXA宇宙科学研究所 助教)(講演会)		

コ 昼間の星の観望会

実施日	令和2年1月18日(土)	参加者	延べ 39人
-----	--------------	-----	--------

サ 学芸員講話 in プラネタリウム

実施予定日	令和2年2月23日(日・祝)	参加者	—
-------	----------------	-----	---

※再掲(16頁4(3)ク)、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

シ はやぶさ2トークライブシーズン2 in 相模原 Vol.1

実施予定日	令和2年3月22日(日)	参加者	—
-------	--------------	-----	---

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(5) ミニ展示(全14回)

ア ミニ展示「旧津久井郷土資料室所蔵の皇室関係資料」

実施日	3月6日(水)～4月26日(金)
内容	市民学芸員との協働で、天皇の代替わりに合わせて皇室関係の資料を展示した。津久井郷土資料室旧蔵資料の中に、さまざまな時代の皇室に関する新聞や絵葉書などがあり、こうした資料が津久井郷土資料室にあったことを示した。
場所	常設展示室出口

イ 市史ミニ展示(第4回)「相模原市史 続編を彩った資料」

実施日	4月25日(木)～8月9日(金)
内容	市史の普及活動の一環として、市史ミニ展示を継続して行った。
場所	常設展示室内

ウ ミニ展示「相模原に来た皇族」

実施日	5月1日(水・祝)～6月2日(日)
内容	5月1日の「令和」改元に関連し、昭和期から平成期に皇族が相模原市域に来訪された際の写真や関係資料を展示した。
場所	常設展示出口
関連事業	展示解説(全2回) 実施日 5月4日(土・祝)、6月1日(土) 参加者 延べ 17人

エ ミニ展示「新天皇家の「お印」」

実施日	5月6日(月・祝)～8月20日(火)
内容	市民学芸員の活動として、新天皇家の「お印」とその植物が見られる場所を紹介した。
場所	情報サービスコーナーの壁面

オ ミニ展示「昭和の思い出」

実施日	6月13日(木)～7月31日(水)
内容	博物館ボランティア「水曜会」の活動として、昭和前半頃のお菓子やお弁当の包み紙などを資料紹介した。
場所	常設展示室出口

カ ミニ展示「北条早雲と相模原」

実施日	8月1日(木)～9月1日(日)
内容	北条早雲制札(複製)の展示のほか、市内及び周辺の北条早雲関係資料を写真パネル等で紹介した。
場所	常設展示室出口
関連事業	展示解説(全2回) 実施日 8月3日(土)・31日(土) 参加者 延べ 37人

キ 市史ミニ展示（第5回）「津久井中野森戸自治会所蔵 森戸養兔組合資料」

実施日	8月24日（土）～10月29日（火）
内容	市史の普及活動の一環として、市史ミニ展示を継続して行った。
場所	常設展示室内

ク ミニ展示「石はかたる」

実施日	8月21日（水）～12月22日（日）
内容	市民学芸員の活動として、田名八幡宮のばんばあ石の話とはやぶさ2が持ち帰る小惑星リュウグウの石について紹介した。
場所	情報サービスコーナーの壁面

ケ ミニ展示「駅弁の旅」

実施日	9月12日（木）～12月28日（土）
内容	市民学芸員との協働で、前期（9月12日～11月6日）は東海道線、後期（11月7日～12月28日）は中央線沿線の駅の駅弁の包み紙を展示した。
場所	常設展示室出口

コ 十二支ミニ展示「子（ね）」

実施日	12月12日（木）～令和2年1月13日（月・祝）
内容	令和2年の干支「庚子（かのえね）」にちなみ十二支の「子（ねずみ）」を紹介した。
場所	エントランス

サ ミニ展示「お正月の風物詩」

実施日	12月24日（火）～令和2年2月9日（日）
内容	市民学芸員の活動として、市内の正月行事について紹介した。
場所	情報サービスコーナーの壁面

シ ミニ展示「マッチ」

実施日	令和2年1月17日（金）～8月下旬終了予定 （3月2日（月）～6月8日（月）を除く）
内容	市民学芸員との協働で、飲食店や旅館、商店街などいくつかの内容に分けてさまざまな図柄のマッチ箱を展示している。
場所	常設展示室出口

ス 市史ミニ展示（第6回）「城山町移管資料 齋藤篤太郎日記」

実施日	令和2年1月25日（土）～6月30日（火）終了予定 （3月2日（月）～6月8日（月）を除く）
内容	津久井郡葉山島村（当時）に生まれ、神奈川県視学官として戦前の教育界に活躍した齋藤篤太郎の日記を初公開している。
場所	常設展示室内

セ ミニ展示「帰ってきた 冬の使者」

実施日	令和2年2月11日（火・祝）～3月1日（日）
内容	市民学芸員の活動として、冬に市内で見られる渡り鳥とおすすめ探鳥スポットを紹介した。
場所	情報サービスコーナーの壁面

(6) 小惑星探査機「はやぶさ2」衝突装置運用管制室ライブ配信パブリックビューイング

実施日	4月5日(金)	参加者	80人
内容	JAXAが公開するYouTubeの生配信番組を博物館の大会議室にて上映し、「はやぶさ2」が新たなミッション“衝突装置運用”に挑むところを応援した。		

**(7) 相模原市立博物館来館者300万人達成記念事業
「フルーツとハーブの調べinプラネタリウム」**

実施日	4月29日(月・祝)	参加者	211人
内容	相模原市立博物館来館者300万人達成記念事業として、プラネタリウムドームで、満天の星の下、ポップスやクラシックの数々の人気曲の生演奏と星空生解説をコラボレーションしたプラネタリウムコンサートを行った。		
出演者	浅尾 真実(フルート)、山本 文瑠(ハーブ)		

(8) 地質学講座「相模野台地の地形と地質」(全4回)

実施日	5月11日(土)・25日(土)、 6月8日(土)・22日(土)	参加者	延べ 119人
内容	相模野台地の地形と地質について、講義と現地観察会を通して学んだ。		
場所	市立博物館、麻溝公園、当麻山公園		
講師	当館学芸員		

(9) プラネタリウム「はやぶさウィーク」特別上映

実施日	6月11日(火)～6月16日(日)	参加者	延べ 640人
内容	6月13日の「はやぶさの日」にちなみ「はやぶさ」関連の全天周映画を上映した。6月13日には、無料で計2回の上映を行った。		

(10) フォーラム「相模野の旧石器」

※旧石器基礎研究・次世代育成研究グループ主催、柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団・八ヶ岳旧石器研究グループ・相模原市立博物館共催

実施日	6月15日(土)	参加者	85人
内容	大学の考古学専攻生や若手研究者など次世代育成を目的に、相模野台地の旧石器研究に関する講演と当館所蔵資料の見学を行った。		
場所	旧石器ハテナ館		
講師	当館学芸員ほか		

(11) 博物館de星まつり! セタでワッショイ!

実施日	6月28日(金)～7月7日(日)		
内容	短冊や七夕飾りを作って飾ることができる笹飾りや七夕らしい記念撮影コーナーを設置した。		
関連事業	ワークショップ「星のストラップ作り」(全2回) 実施日 6月30日(日)、7月7日(日) 参加者 延べ 200人 講師 市民学芸員ほか		

(12) 小惑星探査機「はやぶさ2」タッチダウン運用管制室ライブ配信パブリックビューイング

実施日	7月11日(木)	参加者	201人
内容	JAXAが動画配信サイトYouTubeで配信する管制室の中継番組を博物館大会議室の大型スクリーンで上映し、「はやぶさ2」が2回目のタッチダウンに挑むところを応援した。また、記念缶バッジをプレゼント(数量限定)の実施や「はやぶさ2」のイラスト横断幕による記念撮影コーナーの設置も行った。		

(13) 「夏休み 博物館で学習しよう！」

実施日	7月20日(土)～8月25日(日)	参加者	延べ 9人
内容	夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。		
講師	当館学芸員、学習指導員		

(14) 博物館 de 夕涼み! 打ち水でワッショイ!

実施日	7月26日(金)	参加者	100人
内容	ペットボトルとストローを使って水鉄砲を作り、打ち水を行った。		

(15) 博物館 de 夏まつり! 浴衣でワッショイ!

実施日	8月1日(木)～8月7日(水)		
内容	エントランスに笹飾りを設置し、七夕伝承についてのパネル展やワークショップなどを開催した。		
関連事業	①ワークショップ「星のストラップ作り」 実施日 8月7日(水) 参加者 100人 講師 市民学芸員ほか		
	②浴衣でワッショイ! プラネタリウム観覧料無料 実施日 8月7日(水) 参加者 85人(浴衣や甚平などで来館した人)		

(16) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」(全2回)

実施日	8月10日(土)・17日(土)	参加者	延べ 60人(小学校4年生～中学生)
内容	ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。		
講師	当館学芸員、相模原地質研究会		

(17) 夏休み親子天文教室「手作り天体望遠鏡」

実施日	8月11日(日・祝)	参加者	24組63人
内容	望遠鏡の仕組みを学びながら口径4cmの屈折望遠鏡を親子で作製し、製作した天体望遠鏡を使い、天体観測を行った。		
講師	当館学芸員、プラネタリウム解説員、相模原市立博物館天文クラブ、市民学芸員		

(18) 小中学生のための生物学教室「動物のからだのつくりを学ぼう」

実施日	8月21日(水)	参加者	32人(小学校4年生～中学3年生)
内容	学校の理科の授業より少し専門的な生物学を学んだ。生きものカメラマンのお話を伺ったり、実際に生きものに触れて扱い方を学んだりした。		
講師	当館学芸員、松橋 利光(生きものカメラマン)、後藤 貴浩(ペットショップオーナー)		

(19) 勾玉作り体験&収蔵庫見学

実施日	8月24日(土)	参加者	28人
内容	勾玉作りを通して古代の相模原の歴史を感じるとともに、勾玉材料の穴あけ体験や考古収蔵庫などの見学を行った。		
講師	当館学芸員		

(20) はやぶさ2トークライブ番外編

実施日	8月25日(日)	参加者	168人
内容	平成30年4月まで定期開催をしていた『はやぶさ2トークライブ』を約1年5か月ぶりに開催した。これまでの小惑星リュウグウの探査で分かってきたこと、今後の展望など最新情報をお届けした。		
講師	吉川 真 (JAXA宇宙科学研究所 准教授) 細田 聡史 (JAXA宇宙科学研究所 研究開発員) 橋 省吾 (東京大学 教授・JAXA宇宙科学研究所 特任教授)		

(21) 探検!発見!クイズ&チャレンジ2019(全2回)

実施日	8月24日(土)・25日(日)	参加者	延べ 749人
内容	主に幼児を対象にした体験型のスタンプラリーと小学生以上を対象にしたクイズで、常設展示室の6分野で行った。		
講師	市民学芸員		

(22) 第5回中央地区「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」(全3回)

※中央地区宇宙教室実行委員会と共催

実施日	9月7日(土)、12月14日(土)、 令和2年3月7日(土)	参加者	延べ 215人
内容 内 訳	博物館のある中央地区の市民に向けて宇宙についての教育普及事業を実施(博物館を会場に実施した事業のみ記載)。		
	ア 事業名 ①開講式 ②天体観測の今と昔、そしてこれから ③天体望遠鏡を作ってみよう!		
	実施日 9月7日(土)		
	参加者 128人		
	講師 大川 拓也(天体観測の今と昔、そしてこれから 星を観る会(天体望遠鏡を作ってみよう!))		
	イ 事業名 小惑星探査から見えてきたもの…宇宙の姿 ～「はやぶさ2」の技術のすごさ～		
	実施日 12月14日(土)		
	参加者 87人		
	講師 吉川 真(JAXA宇宙科学研究所 准教授)		
	ウ 事業名 閉講式・JAXA宇宙科学研究所見学		
	実施予定日 令和2年3月7日(土)		

※3月7日(土)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(23) 中世さがみはら探訪 ブラリタイム～無量光寺文書特別見学ほか～

実施予定日	9月8日(日)	参加者	—
内容	原当麻駅周辺の鎌倉時代から戦国時代の伝承地などの探訪を予定していた。特に、市指定有形文化財「無量光寺文書」(北条早雲制札など)の特別見学も予定していた。		

※令和元年房総半島台風の影響により中止

(24) 北条早雲没後500年連続講演会 (全3回)

実施日	9月22日(日)、10月6日(日)、 11月10日(日)	参加者	延べ 394人
内容	相模原市南区当麻の無量光寺には、小田原北条氏の初代北条早雲の史料(制札)が残されている。その北条早雲は、2019年で没後500年であった。そこで、戦国武将として名高い北条早雲にかかわる連続講演会を実施した。		
内 訳	①「市内に残る北条早雲制札～無量光寺文書を中心に～」 実施日 9月22日(日) 参加者 137人 ※再掲(16頁4(3)エ) ②「駿河時代の北条早雲～旗揚げの城 興国寺城を中心に～」 実施日 10月6日(日) 参加者 116人 ③「小田原時代の北条早雲～見直されるその実像と小田原城～」 実施日 11月10日(日) 参加者 141人		

(25) 植物学教室「花の観察と植物画」(全2回)

実施日	10月5日(土)・12日(土)	参加者	15人
内容	植物の科学的な観察方法として最も基本的な「描く」という行為を通して、植物のからだのしくみと、自然の造形の美しさを学び、植物画の初歩的な技法を修得する。		
講師	豊田 路子(植物画家)、当館学芸員		

※第2回(10月12日(土))は令和元年東日本台風の影響により中止。

(26) さがプロ2020 五大陸考古学講座(全6回)

第1回 北アメリカ

「メキシコ、テキーラの故郷を掘る～岩絵調査とロス・アガベス遺跡の発掘～」

実施日	10月20日(日)	参加者	92人
内容	メキシコ西部のロス・アルトス地方では岩盤に彫り込んだ謎に満ちた多数の岩絵を残す独特の文化が近年発見されており、その中心、ロス・アガベス神殿遺跡(7世紀以降)の調査を通して、岩絵の謎に迫った。		
講師	吉田 晃章(東海大学准教授)		

第2回 南アメリカ

「アンデス文明の深層を掘る～神殿、壁画、人々の住処～」

実施日	11月17日(日)	参加者	144人
内容	アンデス文明形成期である3,000年前のワカ・パルディーダ神殿遺跡の発掘調査で、彩り豊かな壁画が発見されており、神殿外壁に描かれた世界観や宗教的指導者が台頭するアンデス文明の社会を解き明かした。		
講師	芝田 幸一郎(法政大学准教授)		

第3回 オセアニア

「『楽園』と災害を島で掘る～プカプカ環礁の考古学～」

実施日	12月15日(日)	参加者	85人
内容	南太平洋上に広がる楽園の孤島であるクック諸島のプカプカ環礁で、既に2,000年前に人々が暮らしていたことが明らかにされている。サンゴでできた島、サイクロンによる災害など、オセアニアの人々は自然とどう向き合ってきたのか。丹念なフィールドワークと学際的な調査から、島景観の歴史を復元した。		
講師	山口 徹(慶應義塾大学教授)		

第4回 アフリカ
「エジプトを掘る」

実施日	令和2年1月19日(日)	参加者	185人
内容	古代エジプトにおいて王(ファラオ)が統一し、ピラミッドやスフィンクスなどに代表されるエジプト文明が誕生する。この王朝成立へとつながる紀元前3,000年以前の先王朝時代遺跡での豊富な発掘調査経験をもとに、ピラミッドが築かれた王国時代へ至るエジプト文明史を語った。		
講師	馬場 匡浩(早稲田大学エジプト学研究所研究員)		

第5回 ヨーロッパ
「ヒッタイト帝国の都市遺跡を掘る」

実施日	令和2年2月16日(日)	参加者	160人
内容	紀元前1,200年頃、現在のトルコを中心とするヒッタイト帝国の滅亡と共に、東地中海のキプロス島を中心に鉄の実用化が進み、人類は鉄器時代を迎えた。鉄利用の歴史に大きく関係するといわれるヒッタイト帝国は、オリエントの覇者となり、後世のヨーロッパ文明にも多大な影響を与えた。クシャックル遺跡の発掘調査成果をもとに、ヒッタイト帝国の都市遺跡の実像に迫った。		
講師	津本 英利(古代オリエント博物館主任研究員)		

第6回 アジア
「皇帝陵からみる東アジア～曹操高陵から隋の煬帝墓まで～」

実施予定日	令和2年3月15日(日)	参加者	—
内容	中国各地で行われている発掘調査は、毎年のように新知見をもたらしてくれるが、なかでも皇帝陵についてはここ20年内外で重要な成果が相次いでいる。陵墓の構造や副葬品、そして史書の記録などから、皇帝陵の実像に迫る。		
講師	市元 墨(東京国立博物館主任研究員)		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(27) ワークショップ「星のストラップ・組み紐」作り

実施日	10月22日(火・祝)	参加者	延べ 90人
内 訳	①ワークショップ「星のストラップ作り」 参加者 50人 講師 市民学芸員ほか ②組み紐作り 参加者 40人 講師 市民学芸員		

(28) プラネタリウム講演会「宇宙への挑戦」 ※日本ロケット協会と共催

実施日	11月2日(土)	参加者	191人
内容	JAXA相模原キャンパス特別公開日に併せてプラネタリウムを会場に国際宇宙ステーションでの生活などについて講演会を実施した。		
講師	山崎 直子(元JAXA宇宙飛行士、日本ロケット協会理事、「宙女」委員長)		

(29) かんじる学校 特別編 星空えほん会 ※相模原市民文化財団と共催

実施日	11月2日(土)	参加者	112人
内容	博物館のプラネタリウムで星空にちなんだ絵本の朗読会を実施した。		

(30) 学びの収穫祭(全2回)

実施日	11月16日(土)・17日(日)	参加者	延べ 530人 (発表者・団体数 8個人・19団体)
内容 プログラム	博物館を拠点に活動するボランティアグループなどの研究・発表会を行った。 ①口頭発表 実施日 11月16日(土) 参加者 96人 ②リュウグウのペーパークラフトづくり 実施日 11月16日(土) 参加者 57人 ③勾玉ストラップづくり(全2回) 実施日 11月16日(土)・17日(日) 参加者 延べ 99人 ④相模原市立博物館天文クラブによる「昼間の星の観望会」 内 容 天体観測室にある口径40cmの天体望遠鏡で昼間の星を観望した。 実施日 11月17日(日) 参加者 52人 ⑤バードおじさんのマジックショー 実施日 11月17日(日) 参加者 42人		

(31) 津久井城跡発掘調査現地説明会

実施日	11月24日(日)	参加者	91人
内容	戦国時代の山城である津久井城跡の発掘調査を実施し、庭園遺構に関わる調査状況を現地公開した。		
場所	県立津久井湖城山公園里山広場		

(32) プラネタリウム「クリスマスほしぞらコンサート」

実施日	12月14日(土)	参加者	214人
内容 出演者	クリスマスメドレーを主にした生演奏のクリスマスコンサートを行った。 浅尾 真実(フルート)、植村 美有(電子ピアノ)		

(33) 歴史講座「北条氏・武田氏の激戦“三増峠の戦い”とその前後」(全3回)

実施日	12月21日(土)、令和2年1月19日(日)・ 26日(日)	参加者	延べ 103人
内容	本市の戦国時代の歴史に最も関係のある小田原北条氏と甲斐武田氏の激戦「三増峠の戦い」と、その前後の武田軍の本市域通過などについて講座と探訪を通して学んだ。		
場所	博物館、愛川町三増合戦場跡周辺、市内緑区青山～寸沢嵐周辺(信玄道・首洗池ほか)		

(34) 火山灰を顕微鏡で見よう

実施日	12月22日(日)	参加者	67人
内容	日本各地の地層の中の火山灰を顕微鏡で観察した。また、火山灰中に含まれる鉱物の洗い出し作業も体験した。		
講師	当館学芸員、相模原地質研究会		

(35) 部分日食を観察しよう！

実施日	12月26日(木)	参加者	29人
内容	天体観測室前室及び観測テラスにおいて、日食メガネ、ピンホール、太陽投影板の3種類の観察方法を紹介すると共に、実際にそれらを用いて部分日食の観察を行った。(当日は終始曇天だったため、ほとんどの時間帯で観察はできなかった)		
講師	当館学芸員・相模原市立博物館天文クラブ		

(36) 天文講座「天体観測の基礎」(全3回)

実施日	令和2年1月12日(日)・19日(日)、 2月2日(日)	参加者	延べ63人
内容	博物館で基本的な宇宙の構造や四季の星座・天体についての講義、実際の夜空での見つけ方や望遠鏡での観察方法など、これから天体観測を行いたい方に向けた講座を実施した。		
講師	当館学芸員・相模原市立博物館天文クラブ		

(37) 繭うさぎ作り

実施日	令和2年2月9日(日)	参加者	200人
内容	市民学芸員が指導し、繭を使った繭うさぎ作りを行った。		
講師	市民学芸員		

(38) 令和元年度研究機関等公開講座「JAXAコース」

太陽系小天体探査「はやぶさ」「はやぶさ2」、そして ※生涯学習センターと共催

実施日	令和2年2月15日(土)	参加者	142人
内容	JAXA宇宙科学研究所にて小惑星イトカワの微粒子のキュレーションを担当している講師による講演。これまでの成果や小惑星探査機「はやぶさ2」による研究が、地球の海や生命の源とどのような関わりがあるかなどについて講演した。		
講師	安部 正真(JAXA宇宙科学研究所 准教授)		

(39) 富士山火山防災フォーラム

実施予定日	令和2年2月22日(土)	参加者	—
内容	地域住民の防災力向上及び火山災害に関する普及啓発のため、富士山火山に関する講演、火山灰体験・観察コーナー及び車両展示コーナーの実施を予定していた。		
講師	当館学芸員、萬年 一剛(温泉地学研究所 主任研究員)		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(40) いろいろな砂を顕微鏡で見よう

実施予定日	令和2年2月23日(日・祝)	参加者	—
内容	日本各地の川原・海岸や、南極、サハラ砂漠の砂を顕微鏡で観察するほか、記念カードの作成を予定していた。		
講師	当館学芸員、相模原地質研究会		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(41) 民俗学講演会「妖怪と伝説」

実施予定日	令和2年3月1日(日)	参加者	—
内容	相模原にはさまざまな妖怪が伝承されている。今回は、『学校の怪談』シリーズの執筆者でもあり、妖怪研究でも活躍されている講師に妖怪の伝説についての講演を予定していた。		
講師	常光 徹(映画「学校の怪談」原作者)		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(42) 市史講演会「戦後世界史のなかのキャンプ座間」

実施予定日	令和2年3月21日(土)	参加者	—
内容	軍都として開発が進展した相模原、米軍の進駐と占領政策の転換によるキャンプ座間の誕生、朝鮮戦争と米軍基地の恒久化、ベトナム戦争と戦車闘争、様々な出来事を通しての動きをグローバルな視点からの講演を予定していた。		
講師	栗田 尚弥(相模原市史・津久井町史執筆、国学院大学講師)		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

5 プラネタリウム・全天周映画

(1) 投影等開始時間

平日(火～金(特別上映期間を除く))

午後2時40分・午後3時50分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前11時00分・午後1時30分・午後2時40分・午後3時50分ほか

(2) 一般投影

テーマ解説

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 ①平成の天文★宇宙ニュース

4月2日(火)～6月2日(日)

②月探査からみえてきたもの～APOLLOからSLIMへ～

6月4日(火)～7月19日(金) ※6月11日～16日を除く

③Aurora(オーロラ)～変幻自在な天空の光～

7月20日(土)～9月29日(日)

※8月5日、12日、18日、19日、26日を除く

④もっと!「はやぶさ2」が見た“リュウグウ”2019秋

10月1日(火)～12月1日(日)・12月7日(土)

⑤宇宙へ羽ばたく日本人宇宙飛行士たち!

12月3日(火)～令和2年2月2日(日)

⑥美しい銀河世界への旅

令和2年2月4日(火)～4月5日(日)

※3月2日～3月31日は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

こどもプラネタリウム

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 ①リーベルタース天文台だより 春の星座の物語

4月2日(火)～5月26日(日)

令和2年3月1日(日)～

②リーベルタース天文台だより 夏の星座の物語

6月1日(土)～9月1日(日)

③リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語

9月7日(土)～11月30日(土)

④リーベルタース天文台だより 冬の星座の物語

12月1日(日)～令和2年2月29日(土)

星空模様

- ア 内容 解説員による季節の星空解説（所要約40分）
春：4月13日（土）～5月26日（日）
令和2年3月1日（日）～
夏：6月1日（土）～7月15日（月・祝）
秋：9月7日（土）～11月30日（土）
冬：12月1日（日）～令和2年2月29日（土）

全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
イ 番組 ①ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3～地球のふしぎ～
4月2日（火）～4月7日（日）
4月27日（土）～5月6日（月・祝）※4月29日を除く
7月20日（土）～9月1日（日）
②ISSからの眺め（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月2日（火）～4月7日（日）
③クジラが星に還る海（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月9日（火）～4月26日（金）
5月8日（水）～7月19日（金）※6月11日～16日を除く
9月3日（火）～12月20日（金）
令和2年1月8日（水）～4月5日（日）
④HAYABUSA2 RETURN TO THE UNIVERSE
リュウグウ版
6月11日（火）～6月16日（日）
12月7日（土）
12月21日（土）～令和2年1月7日（火）
⑤HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョン
DC版
6月11日（火）～6月16日（日）
12月7日（土）
⑥ジュラシックヒーローズ
7月20日（土）～9月1日（日）
12月21日（土）～令和2年1月7日（火）
令和2年3月20日（金・祝）～4月5日（日）
※令和2年3月20日～4月5日は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため中止。

(3) おためしタイム（無料）

- ア 内容 日曜日・祝日の12時10分から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影した。※委託業者による提案事業
イ 実施日 日曜・祝日
※令和2年2月28日以降についてはプラネタリウム休映に伴い中止
ウ 参加者 延べ 3,342人（計62回投影）

(4) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ 番組 小中学校向け 「今晚の星空」
「空を見上げて（夏・冬）」
「宇宙への旅」
幼児向け 「今晚の星空」
「リーベルタース天文台だより」（春・夏・秋・冬）
「ピーターパンのぼうけん」

「ピーターパンとほしのくにへいこう！」
「おしえて！さがぼん お月さまってなあに？」
「ワクワクさがぼん！惑星めぐり」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影
エ 観覧者 延べ 10,709人

(5) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校や報道機関等に発送。博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載。

6 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	36回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	171回

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 研究報告

(2) 有償刊行物一覧（令和2年3月31日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 487,550 円

①博物館

図録・報告書等売上

合計 49冊 32,630 円

ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7.11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8.2	完売
相模原の昆虫ー身近にいる小さな仲間たちー	¥350	H 8.4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8.11	完売
絵図から地形図へー近代地形図の誕生と発展ー	¥2,550	H 9.7	完売
太陽系ー母なる太陽とその家族を巡るー	¥700	H 9.11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10.9	完売
水生昆虫の世界ー水の中の小さな虫たちー	¥1,200	H 11.7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11.10	完売
花を描き、花を知るー植物画の魅力ー	¥1,200	H 12.7	完売
幕末・維新の相模原ー村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たちー	¥1,500	H 12.10	完売
星の測量ー角度をはかり、位置をもとめるー	¥700	H 13.7	1
“道”再発見ー道の役割とその移りかわりー	¥1,500	H 13.10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14.7	5
水晶ってすばらしい！ーその美と実用の魅力ー	¥1,000	H 15.7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16.7	2
相模原ーその開発と変貌ー	¥800	H 16.10	3
地球46億年	¥900	H 17.7	2
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18.10	完売
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H 31.3	23

イ 報告書等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10.3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11.3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12.3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13.3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14.3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15.3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16.3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17.3	1
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18.3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19.3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20.3	0
研究報告第18集 2009	¥700	H 21.3	0
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22.3	-
研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26.3	-

令和元年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第23集 2015	配布のみ	H 27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H 28.3	-
研究報告第25集 2017	配布のみ	H 29.3	-
研究報告第26集 2018	配布のみ	H 30.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10.3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14.3	0
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H 15.3	1
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H 15.3	1
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17.3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17.3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17.3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20.3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21.5	9

ウ 展示解説書

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8.11	完売

合計	¥32,630	49
----	---------	----

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 **227冊** **454,920** 円

ア 相模原市史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39.11	1
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S 42.3	2
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S 44.2	1
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S 46.3	1
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40.11	1
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43.2	1
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S 47.3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16.11	24
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20.3	5
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21.5	12
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22.3	9
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22.3	5
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23.3	14
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24.3	9
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26.3	9
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27.3	8
相模原市史 近代資料編	¥3,240	H 29.5	7
相模原市史 別編	¥1,690	H 30.2	4
相模原市史 別編CD版	¥920	H 30.2	6
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16.3	5
相模原市史ノート第2号	¥700	H 17.3	1
相模原市史ノート第3号	¥600	H 18.3	3
相模原市史ノート第4号	¥600	H 19.3	2
相模原市史ノート第5号	¥600	H 20.3	3
相模原市史ノート第6号	¥700	H 21.3	3
相模原市史ノート第7号	¥700	H 22.3	3
相模原市史ノート第8号	¥650	H 23.3	1
相模原市史ノート第9号	¥700	H 24.3	1
相模原市史ノート第10号	¥700	H 25.3	2
相模原市史ノート第11号	¥700	H 26.3	1
相模原市史ノート第12号	¥700	H 27.3	1

令和元年度 相模原市立博物館 年報

相模原市史ノート第13号	¥700	H 28 . 3	2
相模原市史ノート第14号	¥720	H 29 . 3	4
相模原市史ノート第15号	¥760	H 30 . 3	9
相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	4
相模原市史調査報告書2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書4 相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	7
相模原市史調査報告書7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	3
合 計	¥338,150		180

イ 城山町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史2 資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史3 資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史4 資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	0
城山町史6 通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	0
城山町史7 通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記1 近現代編	¥600	H 3 . 3	2
城山風土記2 近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	0
城山風土記3 九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	5
城山風土記4 歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	0
城山風土記5 町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	1
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓(復刻版)	¥1,100	H 18 . 3	2
合 計	¥7,000		10

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世1	¥2,000	H 16 . 3	2
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	2
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	2
津久井町史 資料編 近世2	¥3,550	H 23 . 3	2
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	0
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	3
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	4
津久井町史 文化遺産編	¥4,060	H 30 . 3	2
ふるさと津久井 第1号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第3号 (特別号)津久井の古地図	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24 . 3	1
ふるさと津久井 第6号	¥820	H 26 . 3	4
ふるさと津久井 第7号	¥790	H 29 . 3	2
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H 16 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H 20 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-

津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	0
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録 公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 1	¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 2	¥1,850	H 22 . 3	0
合 計		¥55,570	24

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	1
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	1
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	0
合 計		¥19,600	2

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	4
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	4
ふじの町史 研究誌 (第1号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第2号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第3号)	¥600	H 5 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第4号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第5号)	¥600	H 8 . 3	1
合 計		¥34,600	11

(3) 広報活動

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組

NHK、J : COM、FM HOT 839 など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、FM HOT 839 レギュラー枠「博物館探検隊」を月1回放送した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館、(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどでの発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月6日～9月22日の内実質9日間に19人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大学	人数	分野	大学	人数
考古	帝京大	1	生物	北里大	1
	東海大	1		神奈川大	1
	昭和女子大	1		日本女子大	1
歴史	首都大	1	地質	桜美林大	1
	都留文科大	1		日本大	1
	鶴見大	1		東洋英和女学院大	1
	国土館大	1	天文	立教大	1
民俗	大東文化大	1		桜美林大	1
	帝京大	1		東京農大	1
	桜美林大	1			

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	7	221	8月	50	1,304	12月	34	2,672	
5月	22	1,262	9月	21	626	1月	18	910	
6月	42	1,381	10月	44	1,775	2月	23	1,199	
7月	47	1,866	11月	75	4,115	3月	0	0	
							年計	383	17,331

10 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- ・糸車
- ・炭火アイロン
- ・電気アイロン
- ・着物体験キット
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・家電製品の移り変わりキット
- ・火のし
- ・火鉢セット

学年	件数
小学校1年	8
小学校2年	0
小学校3年	4
小学校4年	2
小学校5年	2
小学校6年	2
中学校1年	0
中学校2年	0
中学校3年	0
合計	18

11 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで作成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップもついている。

また、貸出し分（最大10組、期間は原則1ヶ月以内）も制作し、博物館内の掲示やホーム

ページでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で展示や関連事業でかるた大会を開催した。

特に、2019年の若葉まつりでは、市青年会議所にて本かるたを使用した「大型カルタ合戦」が行われるなど活用が図られた。

(1) 制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2) 貸出し件数

市青年会議所、学校、保育園、高齢者施設、個人など20件・59組

1.2 インターンシップ

相模原市役所職員研修所の依頼により8月6日・7日・23日・24日・25日の5日間にインターンシップとして、大学生1名を受け入れた。

1.3 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校・高校・他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数 計70件 聴講者 延べ 3,759人 *災害等の影響で中止になったものも含む

演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
新採用職員研修「相模原の歴史」	相模原市職員研修所	歴史	4/3 (水)	けやき会館	木村弘樹
考古企画展展示解説	相模原市文化財調査・普及員 考古班	考古	4/11 (木)	相模原市立博物館	中川真人
自然環境観察員制度全体調査説明	環境情報センター	生物	4/14 (日)	相模原市立環境情報センター	秋山幸也
総会記念講話	さがみはら緑の風	生物	4/27 (土)	相模原市立環境情報センター	秋山幸也
城山方面文化財探訪	相模原市文化財保護課	考古	5/18 (土)	川尻遺跡ほか	中川真人
東京家政学院大学見学実習	東京家政学院大学	博物館	5/18 (土)	相模原市立博物館	加藤隆志
カイコの授業	作の口小学校	生物	6/4 (火)	作の口小学校	秋山幸也
カイコの授業	新宿小学校	生物	6/5 (水)	新宿小学校	秋山幸也
カイコの授業	星が丘小学校	生物	6/5 (水)	星が丘小学校	秋山幸也

令和元年度 相模原市立博物館 年報

カイコの授業	青葉小学校	生物	6/7 (金)	青葉小学校	秋山幸也
カイコの授業	大沢小学校	生物	6/7 (金)	大沢小学校	秋山幸也
ホテル観察会	上溝南高校	生物	6/7 (金)	上溝南高校及び田名望地	秋山幸也
文化財調査・普及員全体会「旧津久井町の石仏」	相模原市文化財保護課	民俗	6/8 (土)	総合学習センター	加藤隆志
相模原市文化財研究協議会学習会	相模原市文化財研究協議会	民俗	6/9 (日)	橋本図書館	加藤隆志
横山党 (和田氏含む) について	相模原市文化財調査・普及員 考古班	歴史	6/13 (木)	相模原市立博物館	木村弘樹
カイコの授業	清新小学校	生物	6/14 (金)	清新小学校	秋山幸也
企画展講演会「名号、題目と石造物」	あつぎ郷土博物館	民俗	6/15 (土)	あつぎ郷土博物館	加藤隆志
勝坂を学ぼう！自然観察「縄文ムラの地形観察～谷戸を歩いて湧き水をたどろう～」	相模原市文化財保護課	地質	6/16 (日)	勝坂遺跡公園および周辺	河尻清和
第10回小田高自然環境フォーラム「自然観察のススメ」	小田高生物部OB会	生物	6/16 (日)	県立小田原高校	秋山幸也
中央大学見学実習 (展示解説・バックヤード見学)	中央大学	博物館	6/30 (日)	相模原市立博物館	木村弘樹・河尻清和
相模台公民館歴史講座 相模原の戦国史	相模台公民館	歴史	7/6 (土)	相模台公民館	木村弘樹
神奈川大学見学実習	神奈川大学	博物館	7/7 (日)	相模原市立博物館	秋山幸也
共和のまちに伝わる伝承 (でいらぼっち)	共和小学校	民俗	7/12 (金)	相模原市立博物館	山本菜摘
桜美林大学見学実習	桜美林大学	博物館	7/13 (土)	相模原市立博物館	山本菜摘
さがみはら地域づくり大学「相模原市の歴史」	ユニコムプラザさがみはら	歴史	7/17 (水)	ユニコムプラザさがみはら	木村弘樹
日本大学文理学部見学実習	日本大学	博物館	7/20 (土)	相模原市立博物館	河尻清和
博物館展示学特論見学実習	神奈川大学大学院歴史民俗学資料科学研究科	博物館	7/30 (火)	相模原市立博物館	秋山幸也

令和元年度 相模原市立博物館 年報

「パソコンを使って宇宙を体験しよう」	橋本図書館	天文	7/31 (水)	橋本図書館	里見聡一
セミの羽化観察会	大野南公民館	生物	8/3 (土)	麻溝公園	秋山幸也
民俗調査について	多摩市文化振興財団	民俗	8/28 (水)	パルテノン多摩	加藤隆志
東京電機大学「地学実験」	東京電機大学	地質	8/29 (木)	相模原市立博物館	河尻清和
歴史講座「享保の改革と大岡越前」	田名公民館	市史	9/8 (日) 9/29 (日)	田名公民館	井上泰
「相模原市の近代史から現代史について学ぶ」	中央公民館	歴史	9/12 (木)	中央公民館	木村弘樹
蚕の育て方について	上溝小学校	生物	9/12 (木)	上溝小学校	秋山幸也
「鎌倉から江戸初期まで～その頃の麻溝～」	麻溝公民館	歴史	9/19 (木)	麻溝公民館	木村弘樹
博物館の概要と展示手法について	弥栄小学校	博物館	9/20 (金)	相模原市立博物館	木村弘樹・ 河尻清和
わんぱくチャレンジ②「天体観察にチャレンジ」	上鶴間公民館	天文	9/21 (土)	上鶴間公民館	田子智大・ 里見聡一
「相模原市の近代から戦後について学ぶ」	小山公民館	歴史	9/25 (水)	小山公民館	木村弘樹
大沼けやき学級「木もれびの森の自然」	大沼公民館	生物	9/26 (木)	大沼公民館	秋山幸也
新採用職員研修「相模原の歴史」	相模原市職員研修室	歴史	10/3 (木)	けやき会館	木村弘樹
かるたで学ぼう「ふるさと相模原」	上鶴間公民館	歴史	10/9 (水)	上鶴間公民館	木村弘樹
大野台公民館「科学講座」	大野台公民館	地質	10/11 (金) 10/18 (金) 10/25 (金)	大野台公民館	河尻清和
幕末・維新のヒーローが関わった相模原の文化財	星が丘公民館	歴史	10/12 (土)	星が丘公民館	木村弘樹
相模原市の植物について	橋本公民館	生物	10/16 (水)	橋本公民館	秋山幸也
東林小3年生出張授業「昔の道具とくらし」	東林小学校	歴史	10/16 (水)	東林小学校	木村弘樹・ 兼杉千秋
相模原の歴史を知ろう 相模原の生い立ちと昭和以降の歴史	市民講座 まなびのライブ塾	歴史	10/18 (金)	総合学習センター	木村弘樹
生き物のふしぎ	神奈川県立生命の星・地球博物館	生物	10/19 (土)	神奈川県立生命の星・地球博物館	秋山幸也
「自分だけのお気に入りの石凶鑑をつくろう」	旧石器ハテナ館	地質	10/19(土)	旧石器ハテナ館	河尻清和
バックヤード見学	原子力規制庁	地質	10/26 (土)	相模原市立博物館	河尻清和
相模原の変貌について～中央地区を中心に～	相小研社会科学部会	歴史	11/13 (水)	相模原市立博物館	木村弘樹

藤野地区大日野原遺跡を訪ねてウォーキング	相模湖公民館	考古	11/13 (水)	沢井公民館	中川真人
上鶴間公民館成人学級「元号の話と相模原に来た皇族」	上鶴間公民館	歴史	11/14 (木)	相模原市立博物館	木村弘樹
ビオトープについて	富士見小学校	生物	11/19 (火)	富士見小学校	秋山幸也
体験活動 (岩石採集)	相模川自然の村野外体験教室	地質	11/21 (木)	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
戦国最強家臣団!?” 武田二十四将?” ~相模原周辺での活躍と末裔伝承など~	古民家園事業実行委員会	歴史	11/24(日)	古民家園	木村弘樹
箱根地域自然に親しむ運動箱根の冬鳥観察会	(公財) 神奈川県公園協会	生物	11/29 (金)	箱根ビジターセンター	秋山幸也
星空観察教室	陽光台公民館	天文	11/30 (土)	陽光台公民館	田子智大・里見聡一
神奈川県高等学校 教科研究会理科部会 生物研修会	教科研究会理科部会	生物	12/4 (水)	光明学園相模原高校	秋山幸也
仮) 昔の道具及び向陽小周辺の昔話	向陽小学校	民俗・歴史	12/12 (木)	向陽小学校	山本菜摘・木村弘樹
学芸員研修シンポジウム「知の宝庫における学び合いの促進」	文化庁企画調整課博物館振興係	博物館	12/12 (木)	国立教育政策研究所社会教育実践教育センター	秋山幸也
丹沢大山自然再生活動報告会シンポジウム	丹沢大山自然再生委員会	生物	12/14 (土)	日本大学生物資源科学部	秋山幸也
冬の星空観望会	東林公民館	天文	1/18 (土)	東林小学校	田子智大・里見聡一
勝坂を学ぼう! 自然観察「冬の里山でバードウォッチング」	文化財保護課	生物	1/19 (日)	勝坂遺跡公園および周辺	秋山幸也
津久井城見学会	日本城郭史学会	考古	1/25 (土)	県立津久井湖城山公園	中川真人
「名刺のいない仲間づくり」	横山公民館	民俗	1/31 (金)	横山公民館	山本菜摘
親子で見る星空観望会	光が丘公民館	天文	2/1 (土)	相模原市立博物館	田子智大・里見聡一
新磯の魅力発見講座「新磯地区の社寺」	新磯公民館	民俗	2/8 (土)	新磯公民館	加藤隆志
自然観察教室~冬の星空探訪~	相模湖公民館	天文	2/15 (土)	相模湖公民館	田子智大・里見聡一
全体研修 (岩石採集)	相模川自然の村野外体験教室	地質	3/6(金)	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
市民が築く博物館~相模原市立博物館の学芸ボランティア	小田原市郷土文化館 ※延期決定	民俗	3/22 (日)	小田原市郷土文化館	加藤隆志

14 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーも行っている。

No.	時代	資料	遺跡名	図	出土位置	報告書
1	旧石器	槍先形尖頭器	淵野辺嶽之内下遺跡	33-643	L1H層 P2ブロック	吾妻考古学研究所 2010『淵野辺嶽之内下遺跡』
2	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	69-53	16号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
3	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	87-10	21号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
4	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	117-1	32号住居址埋甕	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
5	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	153-4	43号住居址	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
6	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	201-50-1	50号土坑	玉川文化財研究所 1998『山王平遺跡－縄文時代編－』
7	縄文	縄文土器(釣手)	淵野辺嶽之内上遺跡	16-11	J3号住居址	相模原市 No.51 遺跡発掘調査団 2004『淵野辺嶽之内上遺跡』

15 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリーの企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志にてふるさといろはかるた制作、紙芝居の実演、市民学芸員かわら版作成を行った。新規募集を行い、3回の講習を経て、新たに9名が加わり47人となった。

イ 登録者 47人

ウ 参加者 延べ 884人

(1) さがみはら水生動物調査会

ア 内容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 24人

ウ 参加者 延べ 50人

(2) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、中学生の職業体験や博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。

イ 登録者 60人

ウ 参加者 延べ 140人

(3) 相模原地質研究会

ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を博物館と協働で行った。

イ 登録者 17人

ウ 参加者 延べ 68人

(4) 相模原縄文研究会

- ア 内 容 市内の縄文時代などの遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭や考古企画展関連事業としてワークショップや活動紹介を博物館と協働で行った。
- イ 登録者 12人
- ウ 参加者 延べ 248人

(5) 民俗調査会

- ア 内 容 柏尾通り大山道及び田村通り大山道など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域のさまざまな文化遺産や民俗を見学した。
- イ 登録者 25人
- ウ 参加者 延べ 125人 (毎月実施しているフィールドワーク他の参加人数)

(6) 水曜会

- ア 内 容 旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行った。
- イ 登録者 19名
- ウ 参加者 延べ 317人 (毎月2～3回程度実施している作業等に参加した人数)

(7) 相模原市立博物館天文クラブ

- ア 内 容 博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
- イ 登録者 15人
- ウ 参加者 延べ 57人 (原則毎月1回実施している天体写真撮影及びその内容の記録化、資料化や事業補助等へ参加した人数)

(8) 福の会

- ア 内 容 館蔵資料のレコードや寄贈された講中道具等の整理を行うほか、収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。
- イ 登録者 8名
- ウ 参加者 延べ 133人 (毎月2回程度実施している作業に参加した人数)

(9) 相模原動物標本クラブ

- ア 内 容 博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。
- イ 登録者 23人
- ウ 参加者 延べ 58人

(10) 尾崎行雄を全国に発信する会

- ア 内 容 平成28年度で協働事業が終了した尾崎罌堂記念館の普及事業については、平成29年度から尾崎行雄を全国に発信する会に企画・運営を委託し、「尾崎罌堂記念館展示・普及事業」を行っている。令和元年度は、ミニ企画展「尾崎罌堂と歴代天皇」や、近現代史講演会として、尾崎罌堂と関わりの深い「福沢諭吉」と「伊藤博文」について外部講師を招き開催した。
※近現代史講演会第2回「伊藤博文の歩みと神奈川」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(11) NPO法人ふじの里山くらぶ

- ア 内 容 平成27年度に協働事業が終了した吉野宿ふじやの普及事業については、「吉野宿ふじや活性化事業」をプロポーザル方式で選定した「ふじの里山くらぶ」に令和元年度も企画・運営を委託し、「昭和の娯楽」展などの企画展や関連事業等を開催した。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R2. 3. 31現在)	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,478	箱
		自然・歴史展示室	898	点
		他館等長期貸出資料	623	点
	分野計		7,999	箱/点
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	8,006	点
		生活資料収蔵庫	1,209	点
		特別収蔵庫	62,705	点
		自然・歴史展示室	126	点
	軍事資料	生活資料収蔵庫	1,638	点
		自然・歴史展示室	34	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
分野計		104,805	点	
民俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	23,092	点
		自然・歴史展示室	141	点
		他館等長期貸出資料	36	点
	分野計		23,269	点
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	241	点
		自然・歴史展示室	50	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	3,755	点
		自然・歴史展示室	34	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,074	点
		自然・歴史展示室	12	点
	ポーリング資料	地質資料収蔵庫	192	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	722	点
		自然・歴史展示室	5	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	49	点
自然・歴史展示室		4	点	
分野計		12,138	点	

令和元年度 相模原市立博物館 年報

動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
		自然・歴史展示室	16	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	38,813	点
		自然・歴史展示室	18	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	点
		自然・歴史展示室	14	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	点
		自然・歴史展示室	40	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野計		42,067	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	56,517	点
		自然・歴史展示室	21	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
	分野計		56,544	点
天文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	点
		特別収蔵庫	0	点
		天文展示室等	25	点
	分野計		2,053	点
合計		248,875	箱/点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R2. 3. 31現在)	単位
美術品	絵画	美術品収蔵庫	418	点
	書	美術品収蔵庫	56	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	点
合計			2,588	点

館内収蔵市史資料

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R2. 3. 31現在)	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数 (R2. 3. 31現在)	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	箱
		城山郷土資料保管庫	309	箱
		吉野宿ふじや	75	点
	分野計		795	箱/点
歴史	歴史資料	尾崎罌堂記念館	4,078	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	0	箱
		吉野宿ふじや	669	点
分野計		5,001	点/箱	
民俗		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
	分野計		2,721	点
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合計			8,632	箱/点

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数 (R2. 3. 31現在)	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
尾崎罌堂記念館	歴史	歴史資料	4,078	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
		施設計	655	箱/点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	309	箱
	歴史	歴史資料	0	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
		施設計	1,159	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	点
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点
	動物	昆虫類	115	点
		施設計	2,329	点
合計			8,632	箱/点

博物館資料に関する図書等

博物館	図書	市民研究室等	41,032	点
	ビデオ・CD-ROM、DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,814	点
	分野計		45,251	点

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）、寄贈寄託考古資料の整理作業
歴史	寄贈・寄託（予定含む）歴史資料の分類整理、尾崎行雄（号堂）関係資料の分類整理、旧津久井郷土資料室所蔵紙資料の整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体・天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 有害生物管理の実施

（1）受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。洗浄乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により定期的なくん蒸を実施した。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0 ppmになるよう活性炭吸着排気を行った。

（2）有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数 105件（令和元年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

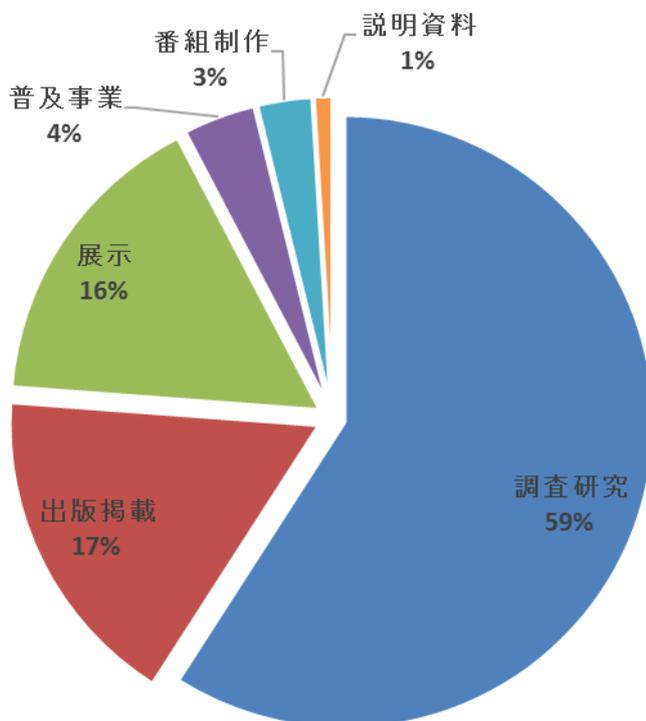
申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
個人	出版掲載	出版掲載	4/20～8/31	民俗	ソバ打ちほか
(株)牧歌舎	画像利用	出版掲載	4/11～4/30	歴史	田所啓助氏寄贈資料
個人	閲覧	調査研究	4/14	歴史	国土地理院地形図ほか
埼玉県生活科学センター	写真データ利用	展示	4/27～5/6	民俗	手回し洗濯機他
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	5/8～3/31	考古	真脇式土器、クム形土器
相模原市文化財保護課	館外貸出し	普及事業	5/9～5/15	考古	勝坂遺跡庄痕土器
個人	撮影・閲覧	調査研究	4/29～4/30	考古	中村遺跡・橋本遺跡出土土器
女子栄養大学 食文化研究室	写真データ利用	出版掲載	5/15	民俗	講中膳椀
個人	撮影・閲覧	調査研究	5/16	歴史	橋本牛久保政宏氏寄託資料(マイクロ)
川崎市立日本民家園	写真データ利用	展示	5/20～11/24	民俗	蚕神像画像ほか
個人	撮影・閲覧	調査研究	5/22	考古	上中丸遺跡・勝坂遺跡出土土器
個人	撮影・閲覧	調査研究	5/24	歴史	橋本牛久保政宏氏寄託資料(マイクロ)・町史榎田家刊本
個人	撮影・閲覧	調査研究	5/24	歴史	旧相原村資料、高橋千青家・井上隆次家(マイクロ)
個人	閲覧・複写	調査研究	5/26	歴史	市発行地形図等
相模原市中央区役所区政策課	出版掲載	出版掲載	6/15	考古	田名塩田遺跡群出土真脇式土器
JTBC	撮影・閲覧	番組制作	6/4	地質	白頭山火山灰等
座間市教育委員会	引用	出版掲載	6/10～6/28	歴史	淵野辺鈴木健司家・新戸石川家資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	6/6	考古	下九沢山谷遺跡出土土器
個人	撮影・閲覧	調査研究	6/6	歴史	相原村小川家文書(マイクロ写し)

令和元年度 相模原市立博物館 年報

個人	撮影・閲覧	調査研究	6/8	歴史	上溝村小在家文書(マイクロ写し)
相模原市道路整備課	撮影・閲覧	調査研究	6/14	地理	国土地理院撮影空中写真
史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	写真データ利用	普及事業	6/20～8/18	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土品ほか
町田市教育委員会	写真データ利用	展示	7/20～9/23	考古	大日野原遺跡出土土器
個人	付着炭化物サンプリング	調査研究	6/23	考古	勝坂遺跡出土土器
神奈川県教育委員会文化遺産課	撮影・閲覧	調査研究	6/26	考古	中野大沢出土土器ほか
相模原市立青根小学校	館外貸出し	調査研究	7/1～R2 3/31	市史	「100年のあゆみ」(津久井町史資料)
相模原市立公文書館	館外貸出し	展示	6/28～9/11	歴史	時局関係綴(旧麻溝村役場資料)ほか
個人	閲覧・複写	調査研究	6/30	歴史	昭和38.42 1/3000地図 星ヶ丘
個人	撮影・閲覧	展示	7/7	歴史	新戸佐藤正明家寄贈日章旗他
相原の歴史をさぐる会	撮影・閲覧	調査研究	7/12	歴史	航空写真(S11・19・48・55・60他)
個人	館外貸出し	調査研究	7/13～8/31	歴史	吉野宿宗門人別帳ほか
史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	模造	普及事業	7/26	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土土鏡
個人	撮影・閲覧	調査研究	7/27	歴史	上溝村小在家文書(マイクロ写し)
個人	閲覧	調査研究	8/5	歴史	大野村役場資料(村会資料)
個人	撮影・閲覧	調査研究	8/6	歴史	相原村役場資料(横浜鉄道関係)他
個人	閲覧・複写	調査研究	8/7	歴史	中野村明治21年図ほか
株ハウフルス	館外貸出し	番組制作	8/8～9/20	市史	現代図録編掲載写真紙焼き
個人	館外貸出し	調査研究	8/8～9/20	市史	藤野町史作成資料(佐野川村検地帳ほか)
個人	撮影・閲覧	調査研究	8/8	歴史	大野村役場資料(村会資料)
シルク博物館	館外貸出し	展示	10/1～11/30	民俗	蚕神像ほか
個人	閲覧	調査研究	8/10	民俗	足踏み脱穀機
相模原市中央区役所区政策課	館外貸出し	普及事業	8/15～8/30	市史	現代図録編掲載写真紙焼き(56-1)
個人	閲覧・撮影	調査研究	8/17	歴史	航空写真(S44・48)当麻周辺
麗鶴会	閲覧・撮影	調査研究	8/20	歴史	相模大野地形図ほか
個人	撮影・閲覧	調査研究	8/23	歴史	大野村役場資料(村会資料)
個人	撮影・閲覧	調査研究	8/24	歴史	航空写真(S39)当麻周辺
個人	撮影・閲覧	調査研究	8/27	歴史	大野村役場資料(村会資料)
個人	閲覧・複写	調査研究	9/3	歴史	向得寺文書(マイクロ写し)
個人	館外貸出し	調査研究	9/5～9/30	市史	藤野町史・津久井町史コピー資料
個人	撮影・閲覧	調査研究	9/11	歴史	上溝村小在家文書(マイクロ写し)
神奈川県教育委員会文化遺産課	館外貸出し	展示	10/17～2/28	考古	中野大沢出土土器ほか
小田原市郷土文化館	写真データ利用	説明資料	10/5	民俗	武田久吉博士収集御札資料No.27
個人	閲覧	調査研究	9/18	歴史	神社合併関係書(相原村役場資料)
個人	撮影・閲覧	調査研究	9/28	歴史	航空写真(S11～60)相原付近
個人	閲覧	調査研究	10/1	考古	中村遺跡出土土器ほか
相模原市緑区区政策課	撮影・閲覧	調査研究	10/2	歴史	小原清水家資料(宿絵図等本陣関係)
相模原市文化財保護課	出版掲載	出版掲載	10/8	考古	大日野原遺跡出土土器
神奈川県教育委員会文化遺産課	写真データ利用	出版掲載	10/17～2/28	考古	中野大沢出土土器ほか
個人	撮影・複写	調査研究	10/4	歴史	上溝小在家、金子家資料
個人	閲覧	調査研究	10/4	考古	田名塩田遺跡群出土土器ほか
個人	館外貸出し	調査研究	10/11～11/10	市史	藤野町史・津久井町史コピー資料
個人	撮影・閲覧	調査研究	10/22～10/27	考古	山王平遺跡出土土器
個人	出版掲載	出版掲載	10/22	歴史	佐藤英雄家文書
個人	館外貸出し	調査研究	10/30～11/6	地質	鬱陵島テフラ
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	11/2～11/10	考古	勝坂遺跡出土土器ほか
相模原市文化財保護課	写真データ利用	出版掲載	11/25～1/10	考古	田名塩田遺跡群出土土器ほか
公財)図書館振興財団	写真データ利用	出版掲載	11/21	歴史	H4刊「相模原軍都計画と地域変化」
個人	館外貸出し	調査研究	11/26～12/26	市史	藤野町史コピー資料
個人	撮影・閲覧	調査研究	12/3	歴史	淵野辺鈴木家絵図類
個人	撮影・閲覧	調査研究	12/3	考古	勝坂遺跡出土土器
個人	撮影・閲覧	調査研究	12/3	歴史	佐藤英雄家文書
塩田天地社運営委員会	写真データ利用	出版掲載	4/15	考古	田名向原遺跡住居遺構
個人	館外貸出し	調査研究	12/13～1/30	市史	城山町史・藤野町史コピー資料
個人	閲覧	調査研究	12/20	市史	城山町教育委員会移管資料
丸善出版株式会社	写真データ利用	出版掲載	12/25～3/31	民俗	婚礼で使用された共有膳椀
個人	閲覧	調査研究	12/26	市史	城山町教育委員会移管資料
個人	閲覧・複写	調査研究	1/4	歴史	迅速測図(中野村周辺)
厚木市教育委員会	館外貸出し	展示	1/15～2/28	考古	上中丸遺跡ほか翡翠石製品
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	1/15～3/25	考古	上鶴間上深堀向遺跡ほか石器
武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	写真データ利用	展示	1/18～4/23	歴史	「さがみはらの養蚕」ネガアルバム画像データほか
個人	閲覧	調査研究	1/9	市史	城山町教育委員会移管資料
個人	閲覧	調査研究	1/16	市史	城山町教育委員会移管資料
上溝を学ぶ会	写真データ利用	出版掲載	1/16	市史	市史文化遺産編掲載写真データ
市立公文書館	館外貸出し	展示	1/17～3/26	歴史	相原・大野村、上溝町役場資料ほか
個人	撮影・閲覧	調査研究	1/22	考古	谷原古墳出土品ほか
個人	撮影・閲覧	調査研究	1/25	歴史	市発行地形図(S48)
個人	撮影・閲覧	調査研究	2/1	歴史	2500分の1地図

個人	撮影・閲覧	調査研究	2/7	市史	小林良司氏寄贈資料
個人	撮影・閲覧	調査研究	2/7	歴史	航空写真S49, H8
個人	撮影・閲覧	調査研究	2/11	市史	小林良司氏寄贈資料
(株)神戸新聞総合印刷	写真データ利用	出版掲載	3/20	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土品
神奈川県立総合教育センター	撮影・閲覧	調査研究	2/21	市史	総合学習センター資料
(株)第一学習社	写真データ利用	出版掲載	3/3~4/3	地質	厚木市七沢の玉ねぎ状風化写真
(株)フィフス・ディメンション	写真データ利用	出版掲載	2/20~4/20	考古	田名半在家遺跡G地点出土品
(有)フィルム・クラフト	写真データ利用	番組制作	2/22~3/31	市史	現代図録編写真・市史広報アルバム他
個人	閲覧	調査研究	2/24	歴史	大正15(昭和22再版)原町田・上溝地形図
個人	撮影	調査研究	3/1	歴史	旧相原村役場資料ほか
相模原市教育センター	写真データ利用	出版掲載	2/27~3/6	市史	市史現代図録編掲載写真
国立歴史民俗博物館	館外貸出し	展示	4/1~3/31	考古	田名向原遺跡出土石器
個人	出版掲載	出版掲載	6/25~10/13	考古	当麻出土石器
個人	撮影・閲覧	調査研究	3/25	考古	光明学園遺跡出土石器
神奈川県立歴史博物館	撮影・閲覧	調査研究	3/26	民俗	淵野辺村鈴木家文書(マイクロ写し)ほか
十日町市博物館	写真データ利用	展示	6/1	考古	橋本遺跡出土土偶写真
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1~3/31	考古	田名塩田遺跡群出土遺物
相模原市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1~3/31	考古	勝坂遺跡出土遺物

博物館資料特別利用の件数



利用目的	件数
調査研究	62
出版掲載	18
展示	17
普及事業	4
番組制作	3
説明資料	1
合計	105

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1/1 模型	H28. 6. 1		エントランス
2	「はやぶさ」1/1 模型	H29. 9. 11		エントランス
3	大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型	H29. 8. 26		エントランス
4	M-V5号機1/50 模型	不明		天文展示室
5	イオンエンジン μ 10 模型	H30. 6. 8		天文展示室

6	カーボングリッド	H30. 6. 8		天文展示室
7	「あけぼの」1/5 模型	H30. 7. 21		天文展示室
8	「みお」1/10 模型	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
9	「あらせ」1/20 模型	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
10	「ひさき」回折格子	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
11	「きょっこう」1/10 模型	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
12	地球近傍の磁気圏モデル	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
13	熱保護膜 (MLI)	R1. 7. 16	R1. 9. 3	
14	アリアン5 ロケット 1/125 模型	R1. 7. 16	R1. 9. 3	

・その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9. 4. 1		エントランス
2	はやぶさ2のぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台 (はやぶさ)	H30. 2. 2		エントランス
4	スタンプラリー台 (いんせき)	H30. 2. 2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類 (3点)	H29. 9. 11		エントランス

6 全国科学館連携協議会からの借用物

令和元年度は借用物なし

V 調査研究

分野	内容と成果
考古 (中川 真人)	津久井城跡城坂曲輪群の発掘調査を実施した。また、同御屋敷曲輪の発掘調査成果について再検討を行い、金粒付着かわらけ等の自然科学分析や砂金調査を実施し、調査成果をまとめた報告書として『津久井城跡資料調査報告書』を刊行した。
民俗 (山本 菜摘) (加藤 隆志)	市内の妖怪伝承について調査し、講演会で発表した。 収蔵資料と市内の民俗に関する写真について、再確認や整理を実施した。
歴史 (木村 弘樹) (井上 泰)	市内の中世から近現代関係資料について調査し、講座・探訪・ミニ企画展などを開催するとともに、研究報告第28集に掲載した。
生物 (木村 知之) (秋山 幸也)	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。
地質 (河尻 清和)	相模原市内および相模川・桂川流域の地形地質調査を実施し、調査結果の一部を日本地質学会第126年学術大会で発表し、研究報告第28集に掲載した。桂川上流域および関東平野西縁部の調査を首都大学東京と合同で実施した。
天文 (田子 智大) (里見 聡一)	相模原市内における月待塔について資料調査を実施し、市町村合併後の集録を研究報告第28集に掲載した。

※検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員	加藤 隆志
国土交通省相模川ふれあい懇談会世話人	秋山 幸也
国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー	秋山 幸也
神奈川県丹沢大山自然再生委員会委員	秋山 幸也
神奈川県レッドリスト委員会植物・菌類部会委員	秋山 幸也
海老名市文化財保護審議会委員	井上 泰

VI 市史・町史編さん

1 相模原市史・津久井町史

(1) 市史編さん審議会

趣 旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関。平成30年3月に刊行物の刊行を終了し、令和元年7月31日を以て廃止。

(2) 市史編集委員会

趣 旨 市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。平成31年4月1日を以て廃止。

(3) 普及事業

市史・津久井町史共に刊行が終了したため、編集活動は終了。資料の整理・保存及び普及活動を中心に行う。

ア 市史講演会「戦後世界史のなかのキャンプ座間」

実施予定日 令和2年3月21日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

講 師 栗田 尚弥(相模原市史・津久井町史執筆者、国学院大学講師)

※詳細は、講座・講演会の欄(27頁4(42))参照

イ 市史ミニ展示の開催

※詳細は、講座・講演会の欄(18~19頁4(5))参照

ウ 市史・町史刊行物の販売

博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店(11店舗)で販売

Ⅶ 博物館所管施設

1 尾崎号堂記念館（緑区又野）



尾崎号堂記念館は、「憲政の神様」といわれた尾崎行雄（号堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和33年1月に、「尾崎号堂うまれ地記念事業委員会」によって建設された。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業で常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 住 所	相模原市緑区又野691番地
イ 電話 番号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62㎡
エ 建物 構造	木造1階建て

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をまず言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、号堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

（3）号堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を『号堂桜』と命名、その内の『普賢象』1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜『ソメイヨシノ』1本が有志により植栽された。

(4) 企画展・講演会・展示

博物館主催事業及び尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業「尾崎号堂記念館展示・普及事業委託」として、次の事業を開催した。

ア 博物館主催事業

①尾崎号堂関係資料公開① 額「互譲共援」

実施日	6月1日(土)～7月14日(日)	来場者	延べ 423人
内容	かつて津久井町の議場に掲げられていた、号堂94才の直筆資料である書を展示した。		

②尾崎号堂関係資料公開② 「戦後の日記帳」

実施日	8月31日(土)～10月6日(日)	来場者	延べ 304人
内容	博物館に収蔵している尾崎号堂関連資料のうち、昭和20年代の戦後の日記帳を4冊展示した。		

イ 尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業

①ミニ企画展「尾崎行雄と歴代天皇」

実施日	10月26日(土)～12月8日(日)	来場者	延べ 212人
内容	尾崎号堂と明治・大正・昭和の歴代天皇に関する資料、書籍、エピソードを紹介した。また、博物館所蔵の上記歴代天皇ポスターを展示した。		
関連事業	展示解説&ギャラリートーク(全2回) 実施日 10月26日(土)、12月1日(日) 講師 当館学芸員、尾崎行雄を全国に発信する会会員 参加人数 延べ 13人		

②尾崎号堂記念館 近現代史講演会①「福澤諭吉と政治—議員、選挙をどう見ていたか—」

実施日	令和2年1月18日(土)	参加者	20人
内容	尾崎号堂の恩師とも言える「福澤諭吉」に関する講演会を、専門家を招いて開催した。		
講師	末木 孝典(慶應義塾福澤研究センター所員・慶應義塾高等学校教諭)		

※令和元年東日本台風の影響により、実施日を10月19日(土)から延期。

③尾崎号堂記念館 近現代史講演会②「伊藤博文の歩みと神奈川」

実施日	令和2年3月14日(土)	参加者	—
内容	尾崎号堂が政友会で一時活動を共にした「伊藤博文」に関する講演会を、専門家を招いて開催する。		
講師	寺岡 真理子(旧伊藤博文金沢別邸館長)		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられたものと言われている。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町家遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

（1）施設概要

ア 住所	相模原市緑区吉野214番地
イ 電話番号	042-687-5022
ウ 延べ床面積	392.51㎡
エ 建物構造	木造3階建て

（2）企画展

平成29年度に提案型プロポーザル方式で選定したNPO法人ふじの里山くらぶへ委託した「吉野宿ふじや活性化事業」を令和元年度も次のとおり実施した。

①吉野宿ふじや企画展「昭和の娯楽」展

実施日	4月27日（土）～6月9日（日）	来場者	延べ 586人
内容	藤野地域住民が収集した昭和時代の懐かしいマンガ、映画ポスター、レコード等を展示した。また、地域住民の娯楽として親しまれた「藤野の村歌舞伎」についても紹介した。		
関連事業	①ギャラリートーク「私の昭和マンガコレクション」 実施日 5日5日（日・祝） 講師 蒲原 雅人（展示資料提供者） 参加者 18人 ②懐かしのレコード鑑賞会（全2回） 実施日 5日19日（日）、6日2日（日） 講師 大房 晋（展示資料提供者） 参加者 延べ 36人		

②吉野宿ふじや企画展「藤野—相模川と人々の暮らし」

実施日	7月20日(土)～8月25日(日)	来場者	延べ 439人
内容	勝瀬集落など、相模湖ができる以前の藤野地域の姿をうつした写真や、そこで使われた生活道具などを紹介した。		
関連事業	①ギャラリートーク1「勝瀬について学んだこと」 実施日 8月11日(日・祝) 講師 佐藤 久美子(元・市立桂北小学校教諭) 参加者 30人 ②ギャラリートーク2「勝瀬での生活から」 実施日 8月25日(日) 講師 小野 完二(元・勝瀬集落住民) 参加者 44人		

③吉野宿ふじや企画展 「児童文学者・丘修三」展

実施日	10月26日(土)～12月1日(日)	来場者	延べ 481人
内容	『ぼくのお姉さん』(偕成社)や『口で歩く』(小峰書店)などを著した藤野在住の児童文学者・丘修三を紹介した。		
関連事業	作品朗読とお話(全4回) 実施日 10月27日(日)、11月17日(日)・23日(土・祝)・24日(日) 講師 丘 修三(児童文学作家) 朗読 山川 のり子、船橋 芳夫、井上 豊子 参加者 延べ 121人 ※令和元年東日本台風の影響より、10月20日(日)を中止、10月27日(日)と11月23日(土・祝)に追加で開催した。		

※令和元年東日本台風の影響により、開始日を10月19日(土)から延期。

④吉野宿ふじや 「甲州道中—相模湖・藤野・上野原—のおひな様」展

実施日	令和2年2月15日(土)～3月1日(日)	来場者	延べ 183人
内容	藤野、相模湖、上野原のおひな人形を展示するとともに、各地域での「雛まつり」を写真などで紹介した。		
関連事業	紙のおひな様作り(全3回) 実施予定日 令和2年2月22日(土)、3月1日(日)・15日(日) 講師 藤野折り紙サークル ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月15日(日)までの会期のところ3月1日(日)をもって終了。

3 入館者数一覧

(1) 尾崎琴堂記念館

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)
27年度	1,571	298	5.3
28年度	1,859	302	6.2
29年度	1,559	305	5.1
30年度	1,738	306	5.7
令和元年度	1,700	* 280	6.1
合計	8,427	1,491	5.7

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)
27年度	3,119	304	10.3
28年度	3,154	302	10.4
29年度	1,554	*1 115	13.5
30年度	2,012	115	17.5
令和元年度	*2 1,711	*3 109	15.7
合計	11,550	945	13.5

*1 平成29年4月から土・日曜・祝日のみ開館

*2 団体及び企画展による平日の利用人数を含めると2,399人/193日

*3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

VIII 博物館略年表

年 月	事 項
昭和55年 4月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和56年 4月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和56年 6月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和56年10月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和58年 2月	(仮称) 相模原市立博物館基本構想策定
昭和58年 6月	展示専門委員会の設置
昭和59年 3月	博物館展示基本計画の策定
平成 2年11月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称) 相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3年 4月	博物館建設事務所設置
平成 3年 5月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3年 7月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3年 8月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3年 9月	建築基本設計着手
平成 4年 1月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4年 2月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4年 5月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5年 6月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6年 8月	天体観測機器設置工事契約
平成 7年 3月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号)
平成 7年 7月	博物館建設工事竣工
平成 7年10月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成7年11月20日 開館	
平成 8年 1月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始
平成 8年 5月	5/19 入館者数10万人を超える 入館者10万人達成記念式典

平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム 観覧料等の免除施策開始
平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（5 0 台収容）が完成し、博物館 駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1 9 9 7 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 1 0 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 1 1 月	平成 9 年度第 3 8 回建築業協会賞受賞
平成 1 1 年 1 1 月	11/21 入館者数 5 0 万人を超える
平成 1 2 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 1 6 年 1 月	1/18 入館者数 1 0 0 万人を超える
	入館者 1 0 0 万人達成セレモニー
平成 1 7 年 1 月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成 1 7 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 1 7 年 1 0 月	開館 1 0 周年記念特別展「博物館 1 0 年の歩み」を実施
平成 2 2 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（補助執行）
平成 2 2 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年 J A X A 連携企画展を開催
平成 2 3 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 2 3 年 5 月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始（現在は「生き ものミニサロン」として実施）
平成 2 3 年 7 月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事 業の開始
平成 2 3 年 8 月	8/28 入館者数 2 0 0 万人を超える
	入館者 2 0 0 万人達成セレモニー
平成 2 3 年 1 1 月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫 祭」を開始
平成 2 4 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を 超える
平成 2 5 年 4 月	研究者らを招き月 1 回、講演やワークショップを行う「さがみは ら宇宙の日」を開始
平成 2 5 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 2 5 年 8 月	市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館に W i - F i 環境導入

平成26年12月	小惑星探査機「はやぶさ2」打上げパブリックビューイングを開催
平成27年3月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
平成27年6月	6/20 入館者数250万人を超える
平成27年11月	相模原市立博物館開館20周年
平成28年2月	尾崎罌堂記念館常設展示リニューアル
平成28年4月	プラネタリウムの操作等業務をPPP（Public Private Partnership）で選考した業者と契約
平成29年4月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成29年11月	当館学芸員によるリレートーク「学芸員講話」を開始
平成31年2月	小惑星探査機「はやぶさ2」タッチダウン実況パブリックビューイングを開催
平成31年3月	3/19 入館者数300万人を超える
	来館者数300万人達成記念事業実施
平成31年4月	市史編さん班廃止
	小惑星探査機「はやぶさ2」衝突装置運用管制室ライブ配信パブリックビューイングを開催
令和元年7月	小惑星探査機「はやぶさ2」タッチダウン運用管制室ライブ配信パブリックビューイングを開催

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責めによらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により博物館に相当する施設として指定されたもの
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (3) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (4) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

- (1) 保全上支障があると認めるもの
- (2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの
- (3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないとして認めるもの

(追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないとして認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第20条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投影	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円
全天周映画	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円

備考

- 1 小人とは、小学校に就学するまでの4歳以上の者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。
- 2 4歳未満の者は、無料とする。

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号

平成11年3月31日教育委員会規則第10号

平成12年3月31日教育委員会規則第18号

平成14年10月1日教育委員会規則第19号

平成15年3月14日教育委員会規則第2号

平成17年3月31日教育委員会規則第3号

平成17年7月29日教育委員会規則第20号

平成19年3月30日教育委員会規則第29号

平成21年4月1日教育委員会規則第7号

平成24年3月30日教育委員会規則第9号

平成26年9月30日教育委員会規則第20号

平成27年3月30日教育委員会規則第15号

平成28年3月28日教育委員会規則第10号

平成30年9月28日教育委員会規則第12号

令和元年6月28日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券(第1号様式)を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券(第2号様式)を交付するものとする。

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント
- (2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第14条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。
- 3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。
- 4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(遵守事項)

第11条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。
- (2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。
- (3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。
- (4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号〕)

(損傷等の届出)

第12条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(協議会の庶務)

第13条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(協議会会長への委任)

第14条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(様式)

第15条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号〕)

(委任)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則(令和元年6月28日教委規則第2号)

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 尾崎^{がく}堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。
- (2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。
- (3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと思えられる者がいるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎峯堂記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}琴堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく}琴堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく}琴堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
 - (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
 - (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。
- 3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

- 2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎^{がく}琴堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあつては、口頭で行うものとする。

- 2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用の承認等)

第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があつた場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく}琴堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

- 2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

- 3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく}堂利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(特別な設備等の承認手続)

第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく}堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(販売行為等の許可手続)

第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立尾崎^{がく}堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。))を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で、飲食し、又は喫煙しないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことは

できない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

- 1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎峯堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式の内紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

- (1) 12月28日から翌年の1月3日までの日
- (2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者がいるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。

- (3) 許可なく飲食又は喫煙をしないこと。
- (4) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (7) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

発行日 令和2年4月1日

相模原市立博物館

住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15

TEL 042-750-8030

FAX 042-750-8061

e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <http://sagamiharacitymuseum.jp/>